

シアホサ



カバーストーリー：
計画を知ることは
どれほど力づけてくれる
ことでしょうか、32ページ

聖見者の石、ジョセフ・スミス、
モルモン書、10ページ

100周年を記念する——
世界中の家庭の夕べ、26ページ

ポルノグラフィの問題への
認識を新たにする、50ページ



「またほかの^{たとえ}譬を彼らに語られた、
『天国は、パン種のようなものである。女がそれを取って三斗の粉の中に混ぜると、全体がふくらんでくる。』」
マタイ 13:33



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
たいまつが燃えたまま走り切る
ディーター・F・ウークトドルフ管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
イエス・キリストの神聖な特質
——慈愛と愛に満ちている

特集

- 10 聖見者ジョセフ
リチャード・E・ターリー・ジュニア,
ロビン・S・ジェンセンならびに
マーク・アシャー・ストー・マギー
ジョセフ・スミスはどのような方法で
聖見者としての役割を果たし、モル
モン書を翻訳したのでしょうか。
- 18 世界を変える言葉
ノーマン・C・ヒル
ガーナのある地方部評議会の識字
率を上げる努力は、ある聖徒たちに
とって計り知れない祝福となりました。
- 22 青少年に教える
救い主の方法に従って指導するには
キャロル・F・マツコンキー
青少年は教会の未来の指導者です
が、指導者としての経験は今日から
でもできます。
- 26 家庭の夕べを尊ぶ
世界中の会員たちが、この大切な
家族を強める活動にどのように参加
しているか見てみましょう。

- 32 救いの計画——
わたしたちを導く神聖な知識の宝
ロバート・D・ヘイルズ長老
御父の計画を支持することは前世
での成功の鍵でしたが、現世におけ
る成功の鍵も同じです。

シリーズ

- 8 教会での奉仕——
わたしは十分な働きを
していただけるか
ブルック・バートン
- 9 熟考——
かぼちゃを取るか、メロンを取るか
レイチェル・コックス
- 40 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——
安全への道
ヘンリー・B・アイリング管長

表紙

表紙——
フォトイラストレーション/コーディー・ベル
表紙裏——
写真/©StockFood /タルボット, パーバラ
裏表紙裏——
写真/ティファニー・マイローン・トン

44

44 誠意をもって生きる

ランドール・L・リッド

あなたの決断の「なぜ」を吟味することは、大切なことに的を絞り目的をもって生活をする助けとなるでしょう。

48 信仰、奉仕、そして1個のパン

ニッサンカ(ニッシ)・ムス・ムダリガ

宣教師たちと教えに行きたいと思いましたが、ただ、そこに行くための交通費をどうすればいいかわかりませんでした。



こんげつごう なか
今月号の中に
かく
隠れている
リアホナを
さが
搜しましょう。
ヒント——
どうすればいいか
わ
分らないとき、
たす
どこに助けを求めますか。



50 ポルノグラフィーの
わなから抜け出す

ダリン・H・オクス長老

性的な内容を含むメディアに適切に対応するのを助けてくれる5つの原則

56 ふさわしいときに
ふさわしい場所で

時には、主があなたや——他の人を——理由があってその場に遣わされたことに、あなたは自然と気づいているでしょう。

58 ポスター——あなたの命の書

59 教えに教え——創世 1:26-27

60 真理を探し求めて

華 鵬

神は存在しないと教えられて育ちました。でもわたしは自分で知る必要がありました。

62 聖文の中の
驚くべき若い男性と若い女性

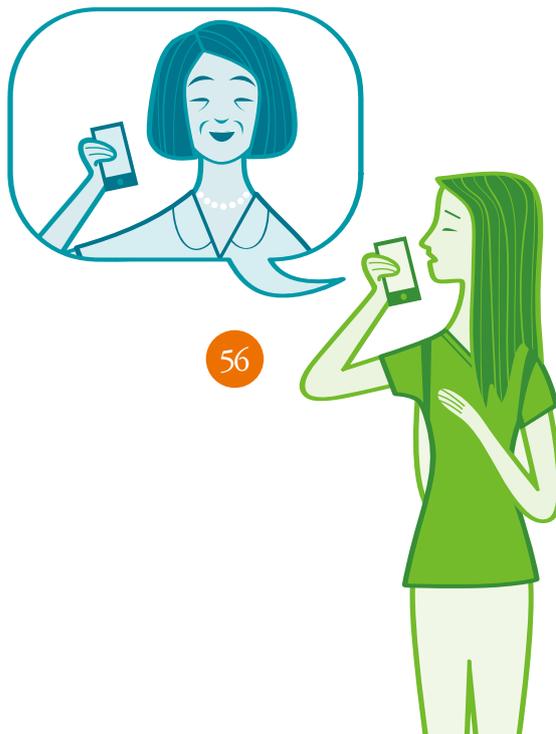
キセラ・ガシア

ちょうどあなたのように、聖文の中の青少年たちも試練や誘惑に直面しました。彼らの信仰と勇気の模範から、何を学ぶことができますでしょうか。

64 質疑応答

どうしたら母の死を受け止めて平安を得られるでしょうか。わたしたちは母が生きながらえるようにと断食して祈ったのに。

56



72



66 勝利の選び

マリッサ・ウィディソン

ミランダに、勝てるチームでプレーできるチャンスがやっとおとずれました。でも、日曜日にできるでしょうか。

68 しつもんコーナー

教会いんであることで、一番 すきなことは 何ですか。

69 わたしたちの ページ

70 聖文の時間——

ペテロとコルネリオと天使

エリン・サンダーソン

72 助けを見いだす

キンバリー・リード

テートは、見ではいけないものを見てしまいました。でも、お父さんとお母さんに話すのはこわいと思いました。

74 こまった! どうしたらいいの?

悪いと分かっているものを見てしまったときはどうしたらいいでしょうか。

75 ポールの かぼちゃ

ポールは、じぶんが おにいちゃんのように 大きくなって どのように 行けるなんて 思いませんでした。

79 音楽——百万人のひとり!

ジャン・ピンボローと

マイケル・F・ムーディー

●定期購読は、「リアホナ」[用紙用紙]でお申し込みになるか、郵便振替(口座名: 末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号: 00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒113-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30

電話: 03-3440-2351

価 格 年間購読: 国内 1,030円(送料込み)

海外 1,030円(+送料実費)

海外在住の方はお近くのディスリビューションセンターへのお申し込みをお勧めします。

普通号/大号号 100円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ iahona.lds.org からお送りください。電子メールの場合は iahona@ldschurch.org へお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Liahona, Rm. 2420, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語、アルメニア語、ヒスラマ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブアノ語、中国語、中国語(簡体字)、クオアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、マダガスカル語、マレーシア語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2015 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用される場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

October 2015 Vol. 39 No. 10. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 707.4.12.5). NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



「家庭の夕べを尊ぶ」26 ページ—— 欠かしたことが一度もない人も、初めてやってみる人も、家庭の夕べを尊び、特別な家庭の夕べを開いてみてはいかがでしょうか。この記事を読んで、世界各地の家族が、福音を学びながら家族で楽しい時間をどのように一緒に過ごしているかをご覧ください。家庭の夕べを行うという目標をどのように達成するか話し合ってみてください。あなたの家族の必要に合わせてどのような形にすればよいでしょうか。100年続いてきたこの伝統を、状況にかかわらず家庭の優先事項とすることを家族で改めて決意するとよいでしょう。

「助けを見いだす」72 ページ—— 家族と一緒にこの記事を読んでから次の質問をするとよいでしょう。(1) 子供たちが関わりを持つ可能性のある画像やメディアにはどのような種類のものがありますか。(2) そのうち、見たり関心を寄せたりするべきでないものはどれでしょうか。(3) 不適切だと分かっているものを見たり聞いたりしてしまったり、どうすればよいでしょうか。もし、その状況から離れる、両親に相談する、奉仕をするといったアイデアで助けが必要なら、74 ページの「こまった! どうしたらいいの?」に書いてある方法について話し合ってください。

あなたの言語で

languages.lds.org で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。家庭の夕べのアイデアや、日曜日のレッスンのためのヒントや、友達、家族と分かち合える内容を見つけるために、[Facebook.com/liahona.magazine](https://www.facebook.com/liahona.magazine) (現在は英語・スペイン語・ポルトガル語のみ) をご覧ください。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

- 安息日, 66
- イエス・キリスト, 7
- 祈り, 43, 64, 72
- 思いやり, 50
- 改心, 60
- 家庭の夕べ, 26
- 旧約聖書, 59
- 教会員であること, 68
- 教会の召し, 8
- 教会歴史, 10
- 勤勉, 4
- 啓示, 80
- 結婚, 32
- 決断, 9, 44, 58, 66
- 死, 64
- 慈愛, 7
- 指導者, 22
- ジョセフ・スミス, 10
- 神殿, 69
- 新約聖書, 70
- 救いの計画, 32
- 青少年, 22, 62
- 聖典, 18, 59, 62
- 選択の自由, 32

- 伝道活動, 44, 48, 60, 70, 75
- 評議会, 18
- 奉仕, 8, 56
- ボルノグラフィ、50, 72
- メディア, 50, 72, 74
- モルモン書, 10, 44
- 優先順位, 9
- 預言者, 10, 80
- 読み書きの能力, 18
- 靈感, 40, 41, 42, 56



大管長会第二顧問
ディーター・F・
ウークトドルフ管長

たいまつが燃えたまま 走り切る

古代ギリシャでは、ランパデドロミアと呼ばれたリレー競走が行われていました。¹ このレースの走者はたいまつを持って走り、次の走者に渡します。こうしてチームの最終走者がゴールするまで次々に手渡していきます。

最も速く走ったチームに賞が与えられたものではありません。たいまつが燃えたまま最初にゴールしたチームに賞が与えられたのです。

ここに、古代と現代の預言者たちが教えた深遠な教訓があります。それは、レースを始めることが大切であると同時に、もっと大切なことは、たいまつが燃えている状態でレースを終えるということです。

ソロモンは強い心で始めた

偉大な王ソロモンは、強い心で始めた人の模範です。ソロモンは若いとき、「主を愛し、父ダビデの定め^に歩^みました」（列王上 3:3）。神はソロモンのことを喜んでこう言われました。「あなたに何を与えようか、求めなさい。」（列王上 3:5）

富や長寿を願う代わりに、ソロモンは、「聞きわける心をしもべに与えて、あなたの民をさばかせ、わたしに善悪をわきまえることを得させてください」と願いました（列王上 3:9）。

主はこのことを非常に喜ばれ、ソロモンに、知恵だけではなく、大いなる富と長寿も祝福されました。

ソロモンは実に賢明で、多くの偉大なことを成し遂げましたが、最初の強い心で生涯を閉じることはありませんでした。悲しいことに、晩年、「ソロモンは主の目の前に悪を行い、……

全くは主に従わなかった」のです（列王上 11:6）。

自分自身のレースを走り切る

わたしたちは何かを始めて、完遂しなかったことが何回あるでしょうか。ダイエットですか。運動プログラムですか。毎日聖文を読む決意ですか。イエス・キリストのより良い弟子となる決意ですか。

1月に決心して、数日間、数週間、さらには数か月間、燃える決意で実行したものの、10月には決意の炎は消え、冷たい灰同然になったことが何度あるでしょうか。

ある日わたしは、伏せた犬の傍らに咬みちぎられた紙が写った面白い写真を偶然見つけました。紙には「犬の従順訓練証明書」と書かれていました。

わたしたちは時としてこの犬のようです。

善良な意図を持ち、強い心で物事を始め、最高の自分になりたいと思います。でも最後に、決心は粉々になって捨てられ、そして忘れ去られます。

つまずき、失敗し、時にはレースをやめたいと思うのは人の常です。しかし、イエス・キリストの弟子として、わたしたちはレースを始めるだけでなく、たいまつが明るく燃えたまま走り切ることを決意しています。救い主は御自身の弟子にこう約束されました。「最後まで耐え忍ぶ者は救われる。」（マタイ 24:13）

救い主がわたしたちの時代に約束されたことを別の言葉で





起き上がり、救い主に向かって進み続ける限り、たいまつが明るく燃えている状態でレースに勝利を取めるのです。

たいまつは、わたしたちやわたしたちの行いを表すものではないからです。

それは、世の救い主を表すものです。

そして、決して暗くなることのない光です。暗闇を消し去り、わたしたちの傷を癒やし、最も深い悲しみの最中や底知れない暗闇の中にいるときでさえ強く輝く光です。

わたしたちの理解をしのぐ光です。

わたしたち一人一人が、走り始めた道を走り切ることができますように。そして、わたしたちの救い主、贖い主であるイエス・キリストの助けにより、たいまつが燃えたまま、わたしたちは喜びのうちに走り切ることができるでしょう。■

言い換えましょう。主の戒めを守り、たいまつが燃えたまま走り切るなら、わたしたちは永遠の命を得るでしょう。それは神のあらゆる賜物の中で最も大なるものです（教義と聖約 14：7 参照。2 ニーフай 31：20 も参照）。

決して消えない光

つまずき、失敗し、さらには諦めた後に、わたしたちは落胆し、炎が消えてレースに負けてしまったとすることがあります。しかし、わたしは証します。キリストの光は消えることはありません。主に心を傾けるなら、キリストの光は真っ暗闇の夜に輝いて心を再び照らします（列王上 8：58 参照）。

わたしたちが何度倒れても、あるいはどのような深みに落ちても、キリストの光は変わることなく明るく燃えています。そして最も暗い夜であっても、主に向かって歩みさえするなら、主の光は影を消し去り、魂に再び光をともすのです。

弟子としてのこのレースは、短距離走ではありません。マラソンです。そしてどれだけ速く走ったとしても違いはほとんどありません。事実、わたしたちがこのレースに負けるのはただ一つ、最終的に走るのをやめる、つまり諦めるときです。

注

1. *Harpers Dictionary of Classical Antiquities* (1898 年), "Lampadromia," www.perseus.tufts.edu/hopper. パウサニアスは別の「たいまつ競走について」述べている。各部族からおそらく一人選ばれてレースに参加し、たいまつを受け渡しをしないで走るものである。しかし、ランパドドロミアの場合と同じで、勝者は、たいまつが燃えている状態で最初にゴールした人であった。

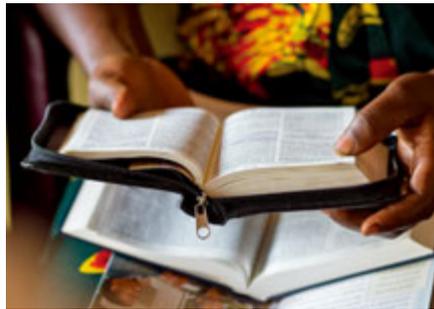
このメッセージから教える

訪問先の人たちに、彼らが人生の「レース」のどの位置にいるかを考えてもらうとよいでしょう。彼らのたいまつは明るく燃えているでしょうか。キリストの光は「暗闇を消し去り、わたしたちの傷を癒やし、最も深い悲しみの最中や底知れない暗闇の中にいるときでさえ強く輝く光」であるという言葉を読んでもよいでしょう。その後、訪問先の人たちと、キリストの光が過去に彼らの生活にどのような影響を及ぼしたか、また現在どのような影響を及ぼしているかについて話し合うとよいでしょう。

あなたのたいまつを燃やす——30日間の試み

忙しい生活を送っている教会の青少年は、特に靈的な事柄について、習慣という型にはまって動けなくなることがよくあります。わたしたちは、ほとんど毎日同じ方法で聖文を読み、祈り、礼拝し、その後、どうして靈的に成長しないのだろうかと考えます。

靈的なたいまつを赤々と燃やし続ける最も良い方法の一つは、意義のある靈的な経験をすることです。しかし、「言うは易く行うは難し」です。それではここで、あなたが靈的に成長し続ける助けとなる提案をしましょう。以前にしたことのない（または、ほとんどしていない）福音に関連した活動について考え、1か月間毎日それを行う決意をしてください。小さなことから始めましょう。なぜなら、何かを少しだけ変えて長続きさせる方がより簡単であることが分かるからです。靈的な面で習慣に



なっていない事柄を行うためには、もっと信仰と努力が必要です。しかしそれらのことを行うとき、わたしたちは、ともにいてくださるよう聖霊を招き、また天の御父にさらに大いなる信仰を示し、御父の近くにいたいという望みを表しているのです。以下に、それを始めるためのアイデアを紹介します。

- 朝夕の祈りをささげること目標とする。声に出して祈るよう努力する。
- 15分早く起きて、学校に行く前に聖文を読む。
- 過去の総大会の話を読む。
- モルモン書の聖句をソーシャルメディアに投稿する。
- いつも聴いている曲の代わりに、賛美歌や教会の音楽を聴く。

こども

あなたの光をもっと明るくかがやかせる

むかし、ギリシャで行われたレースでは、さんかした人はみんな、たいまつを高くかがげながら走りました。さいごまでたいまつをともしたままレースを走りおえた人はだれでも、しょうりしゃになりました。ワークドルフ管長は、人生はこのレースのようだと

と言っています。そしてわたしたちがかかげるたいまつは、キリストの光です。わたしたちがイエス・キリストのようになるとりよくとするとき、わたしたちはたいまつを光をもっと明るくかがやかせているのです。

さびしそうにしている人に、ほほえみかけたり、あいさつをしたりする

だれかにたいしてずっとおこっている

からだ体によいことをする

おとうと、いもうと 弟や妹をからかう

よげんしゃにしたがう

しっばいをしたら、あきらめる

ほかの人をたすける



この男の子がイエスさまのようになると、たいまつを光をもっと明るくかがやかせることができるほうほうをえらび、丸に色をぬりましょう。

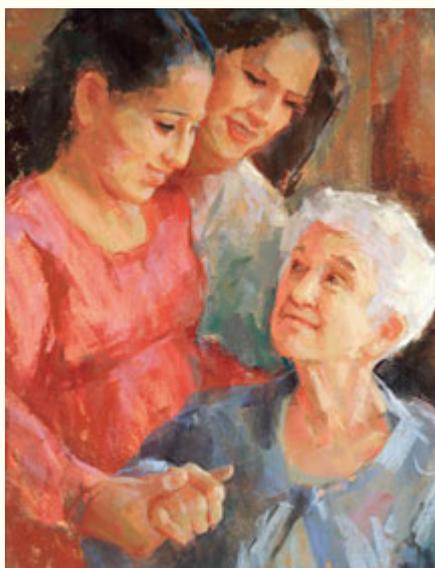
祈りをもってこの資料を学び、何を伝えるべきか分かるよう祈り求めてください。
救い主の神聖な特質が理解できるようになると、救い主を信じるあなたの信仰はどれほど増し、
家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹にどれほど祝福が注がれるでしょうか。
詳しくは www.lds.org/callings/relief-society?lang=jpn をご覧ください。

イエス・キリストの 神聖な特質—— 慈愛と愛に 満ちている

本記事は、救い主の神聖な特質に焦点を当てた
家庭訪問メッセージシリーズの一環です。

『聖句ガイド』では、慈愛は「最も
聖気高く、尊く、しかも強い愛」と
定義されています（「慈愛」の項）。
それはイエス・キリストの純粋な愛
です。イエス・キリストについて学
び、主のようになろうと努力するとき、
わたしたちは生活の中で主の純粋な
愛を感じ、主がなさるように人々を愛
し、彼らに仕えたいと思うようになります。
トーマス・S・モンソン大管長
は次のように言いました。「慈愛と
は、自分を失望させた人に忍耐する
ことです。ささいなことに腹を立て
ないように気持ちを抑えることです。
人の欠点や失敗を受け入れること
です。人をありのままに受け入れる
ことです。外見の奥にある、時が過
ぎても衰えることのない特質に目を
向けることです。レットルを貼ろうと
する衝動を抑えることです。」¹

わたしたちはモルモン書から「御父
が御子イエス・キリストに真に従う者
すべてに授けられたこの愛で満たさ



れるように、また神の子となれるよう
に、熱意を込めて御父に祈り……。
御子が御自身を現されるときに、わ
たしたちはありのままの御姿の御子
にまみえるので、御子に似た者とな
れるように、またわたしたちがこの
希望を持てるように、さらにわたし
たちが清められて清い御子と同じよう
になれるよう、熱意を込めて御父に
祈〔らなければならない〕という
偉大な真理を学びます（モロナイ
7：48）。

その他の聖句

ヨハネ 13：34 - 35；1コリント 13：
1 - 13；1ニーファイ 11：21 - 23；
エテル 12：33 - 34

注

1. トーマス・S・モンソン「愛はいつまでも絶えることがない」『リアホナ』2010年11月号、124参照
2. 『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』120
3. 『わたしの王国の娘』87



信仰・家族・扶助

わたしたちの歴史から

「ある姉妹は、夫を亡くしたとき
にともに悲しみ、慰めてくれた訪問
教師に感謝しました。次のように
書いています。『わたしは誰かと話
したくて、誰かに話を聞いてもらい
たくてたまりませんでした。……
彼女たちは聞いてくれました。慰
めてくれました。一緒に涙を流して
くれました。そして抱き締めてくれ
ました。……独りぼっちになって
最初の数か月間、深い落胆と絶望
から抜け出すのを助けてしてくれま
した。』

別の女性は、訪問教師から真の
慈愛を示してもらったときの気持ち
を次のように述べています。『自分
が彼女にとって単なる訪問記録の
数字以上の存在であることが分か
りました。大切に思ってくれている
ことが分かりました。』²

これらの姉妹たちのように、世界
中の多くの末日聖徒は、パッカー会長
（1924 - 2015年）の次の言葉
が的を射たものであると証言する
ことができます。「〔家族〕がどこに
行こうと、教会員の家族が待って
くれていると思うと、どんなに慰め
られることでしょう。引っ越した
その日から、夫は神権定員会に、妻
は扶助協会に所属するのです。』³

考えてみましょう

キリストはどのような点で、わたしたち
にとって愛と慈愛の完全な模範であら
れるのでしょうか。

わたしは十分な働きをしていたらどうか

ブルック・バートン

失われた羊の教訓のおかげで、最善を尽くして自分の召しを果たすにはどうしたらよいか分かりました。

わたしは23歳のとき、既婚学生ワードの扶助協会の会長に召されました。最善を尽くしたいと思いつつも、自分の至らなさを痛感したのを覚えています。奉仕する意欲はかなりありましたが、奉仕できることに喜びを感じてはいたのですが、良い指導者になる能力が自分にあるかどうかは疑問でした。

扶助協会会長になってから数か月たつと、わたしは自分が最善を尽くしてはいないと感じました。姉妹たちと親しくなって個々の必要に応じた助けができればいいのと思いつつも、それができていないと感じていたのです。

ビショップにこの不安を打ち明けました。手を差し伸べたい姉妹がいても、その全員に手を差し伸べることができないのだと説明したのです。自分が5人いたら理想的な方法で召しを果たせるのと言いました。大した悩みではないと、ユーモアを交えて話そうと努めたのですが、わたしの目は、見る見るうちに落胆の涙でいっぱいになってしまいました。ビショップはほほえむと、わたしがこれまで受けた中で最高のアドバイスを与えてくれました。

「自分の群れから一匹いなくなると、『九十九匹』を残してその羊を捜しに行った羊飼いの話を御存じですか(ルカ15:4-7参照)」と聞いてきた

のです。わたしはうなずきました。

「このたとえには、偉大な知恵があると思います」と言って、ビショップは話を続けました。「いなくなった一匹の羊を自分が捜しに行っても、残りの九十九匹は大丈夫だということを、この羊飼いは知っていたのです。」

そして、ビショップはこんなアドバイスをしてくれました。

「分かりますか。九十九匹は、羊飼



いがいなくともお互いに助け合う良い方法を知っているのです。彼らは非常にうまくお互いに励まし合い、支え合っていくでしょう。あなたは失われた羊を捜しに行くことに精神を集中すればいいと思いますよ。他の姉妹たちは大丈夫です。」

わたしはビショップの言っていることが真理だという^{あかし}証を強く感じました。一度に群れ全体の世話をしようとする必要はないのです。わたしがやることは、失われた羊を捜して群れに返すことだったのです。そうすることによって、天の御父の目標が果たされ、わたしは御父の御手に使われる者となることができます。

ビショップの勧告に従ったところ、主が王国の中でわたしにどのように奉仕してほしいと思っておられるのがよく分かり、展望が開けてくるのを感じました。また、召しを果たすときに霊的に満たされて、自分が強くなるのを感じました。それは、主が教えられたとおりにわたしが奉仕していたからです。ビショップは聖霊の力によって、わたしに理解と悟りという偉大な賜物^{たまもの}を与えてくれました。

わたしたちが祈り、神権指導者に靈感を求めるならば、その指導者は靈感を受けて、正しい方法で導くにはどうしたらよいかを教えてください。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

かぼちゃを取るか、メロンを取るか

レイチェル・コックス

どれを選んでも間違いではないことがあります。
ただ選択肢があるだけという場合です。

父は非常に驚きました。前の年に
まいたかぼちゃの種が、今年の
夏、メロン畑の真真中で芽を出したの
です。メロンは非常に良く育ちました。
かぼちゃもです。あまりによく生育した
ので、父はかぼちゃもそのまま育てよう
かと思ったほどでした。でも父は、
そんなことをしたらかぼちゃのせいで
メロンの生育が悪くなってしまうこと
を知っていました。

ですから、決断を下さなければなり
ませんでした。かぼちゃの苗を引き抜
くか、そのまま育ててかぼちゃがメロ
ンを押しつけていくのを見過ごすか
です。引き抜けばメロンの生育は良
くなるでしょうし、そのままにすればか
ぼちゃもメロンも収穫が悪くなります
かぼちゃを取るか、メロンを取るか。
これは、二つの良いものの中から一つ
を選ぶという選択です。

両者を見比べて、父は生い茂るかぼ
ちゃを引き抜くことにしました。芽を
出すのが遅かっただけでなく、予想
外に芽を出したかぼちゃよりも、**計画的に植えたメロンの方**を取ることに
決めたのです。

この父の行動を見て、わたしは物事
を選ぶことについて考えさせられま
した。特に人との関係でどちらか
を選ばなければならないときのこと



です。家族や友達、雇用主との関係
であろうと、交際相手または結婚相手
との関係であろうと、二つの良いもの
のうち一つを選ばなければならず、特
に選択を誤りたくない場合には、正し
いもの、最高のものはどちらなのか、
決めかねることがあります。選択を
誤るかもしれないと思うと、怖くて
決められなくなってしまうことがあ
ります。恐れのために、信仰をもって
前進することができなくなってしまう
のです。しかし実際には、どれを選ん
でも間違いではないことがあります。
ただ選択肢があるだけという場合
です。父の場合は、**大切にしたいと
思う方**を選びました。かぼちゃが
枯れるのを見るのは忍びなかったの
ですが、後でメロンに悪い影響が出た
ら後悔することは分かっていました。

人生では、何を選んでも問題がない
場合がよくあります。朝食に何を食
べるかとか、今日は何色のワンピース
を着ればよいか、というような場合
です。二つの良いものうちどちらか
を選ばなくてはならなくなったら、
父のように、「自分にとってどちらが
大切か」を考えるとよいかもしれませ
ん。そのうえで、信仰をもって前進
するのです。どこか間違っていたら
主がそれを教えてくださると信じて。

しかし、**非常に重要な**選択もあり
ます。トーマス・S・モンソン大管長
はこう言いました。「決断はいつもわ
たしたちの前にあります。賢明な決断
には勇気、すなわち『いいえ、そう
しません』と言う勇気と『はい、そう
します』と言う勇気が必要です。決断
が行く末を決めるのです。」「選
びについての3つのR」『リアホナ』
2010年11月号, 68) このよう
に重大な決断を下さなければなら
ない場合に自問すべきことは、「**主は
何を大切にしておられるか**」です。
この問いの答えが分かっているら
ば、わたしたちのなすべきことは、
自分の価値観を主の価値観に合
わせたうえで決断を下すことです。
このようにすれば、常に正しい
方を選ぶことができるでしょう。■
筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。



聖見者

ジョセフ

歴史記録は、ジョセフ・スミスが
どのような方法で聖見者としての役割を果たし、
モルモン書を翻訳したかを明らかにしています。

リチャード・E・ターリー・ジュニア、教会歴史家・記録者補佐、
ロビン・S・ジェンセンならびにマーク・アシャースト・マギー、教会歴史部

ジョセフ・スミスは、キリストの教会（後に、末日聖徒イエス・キリスト教会¹と
呼ばれるようになった）を組織した日、1830年4月6日に、集まった人々に
啓示の言葉を公表しました。神の声がその中で次のように宣言しています。
「見よ、あなたがたの間で記録を記さなければならない。そして、その記録の中で……
あなた〔ジョセフ・スミス〕は聖見者……と呼ばれなければならない。」（教義と聖約
21:1）

新たに組織された教会における聖見者としてのジョセフ・スミスの役割を示す最大の
しるしが、モルモン書でした。モルモン書は「神の賜物と力によって」翻訳された²と、
彼は繰り返し述べています。教会が組織される前の年に、ジョセフのごく身近にいた
人の多くは、モルモン書が世に出た過程を目にし、「聖見者」という言葉の意味を多少
理解しました。

聖見者の意味

「聖見者」は、若い預言者や当時の人々にとって、どのような意味があったのでしょうか。
ジョセフは聖書を読む家庭で育ちました。聖書には、聖見者のことが繰り返し述べら
れています。例えば、サムエル記上で、記録者はこう説明しています。「昔イスラエルで
は、神に問うために行く時には、こう言った、『さあ、われわれは先見者〔訳注——英語
は seer で、聖見者のこと〕のところにへ行こう』。今の預言者は、昔は先見者といわれて
いたのである。」（サムエル上 9:9）

また聖書には、つえ³さおに掛けられた真鍮の蛇⁴（広く医療の象徴となった）、
エポデ⁵（二つの宝石を入れた祭司の衣装の一部）、ウリムとトンミム⁶など、人々が
物理的な物を用いて霊的な示しを受けたことも述べられています。



ジョセフと妻エマ・ヘイル・スミスがこの家の1階に住んでいたときに、モルモン書の一部が翻訳された。家の右側の2階部分は後に増築されたものである。



ジョセフ・スミスは、存命中に数千人の会員、また死後も数百万人の会員の間で、預言者、聖見者、啓示者として知られてきた。

霊的な示しを「見ること」や「聖見者」はアメリカの家族の文化の一部であり、その中でジョセフ・スミスは育ったのです。聖書の言葉と、移民によって北アメリカに持ち込まれた英国系ヨーロッパ文化の融合の両方から大きな影響を受けた、19世紀初頭の人々の一部は、天与の才のある人は聖見者の石など物理的な物を通して「見る」すなわち霊的な示しを受けることができると信じていました。⁷

若いジョセフ・スミスは、なくした物や隠されている物が聖見者の石を使えば見えるという、当時の民間の考え方を受け入れました。古代に神が物理的な物を用いて民の信仰を一つに集中させたり、霊的に交流を図ったりされた話が聖書に述べられており、ジョセフや他の人々は、自分たちの時代も当然同じであると思っていました。ジョセフの両親、ジョセフ・スミス・シニアとルーシー・マック・スミスは、家族がこの文化に溶け込み、物理的な物をこのような方法で使用したことを認めています。ジョセフが1827年の終わりにペンシルベニア州に引っ越す以前、ニューヨーク州パルマイラとマンチェスターの村人が、なくした物を見つけ出すようジョセフに頼むこともありました。⁸

ジョセフが住んでいた地域において19世紀の人々がどのような信仰生活を送っていたかを理解しなければ、聖見者の石についてよく分からないかもしれません。そのために、研究者たちはジョセフの生涯のこの時期のことを長年論じてきたのです。ジョセフの時代は「啓蒙時代」すなわち「理性の時代」、つまり科学を強調し、霊的な事柄よりも目に見える世界を強調した時代でもありました。そのために、この時代の多くの人々は、石やつえなど物理的な物を使うことは迷信に基づくものであり、宗教の目的を達するのには適切でないと感じるようになりました。

後年、ジョセフは、自分が体験した輝かしい出来事について話すとき、示現やその他の霊的な経験を強調しました。⁹

その一方で、かつての友人の何人かは、ジョセフが初期に聖見者の石を使ったことに焦点を絞り、そのような行為を次第に拒むようになった世界において彼の評判を損なおうとしました。伝道する際に、ジョセフと他の初期の会員たちは、民間の文化の影響に心を奪われないことにしました。なぜなら、改宗する可能性のある多くの人は、「理性の時代」に宗教をどのように理解するか既に心を決めていたからです。しかしジョセフは、聖典に加えられることとなった啓示によって、聖見者の石やその他の聖見者の道具、ならびにそれらを取り扱う能力は重要なものであって、神から与えられた神聖な賜物であることを教え続けました。¹⁰

モルモン書を翻訳するために使われた道具

ジョセフ・スミスとモルモン書の翻訳について述べている歴史記録には、聖見者の石のことも出てきます。1838年以降にジョセフが記した公式の歴史には、モロナイとされる天使の訪れのことなどが述べられています。この天使が、近くの丘に埋められている金版について彼に告げました。ジョセフは、天使と言葉を交わしている間に心に明瞭に「示現が開かれ」、後にそこを訪れたときに「その場所が分かった」と詳しく述べています（ジョセフ・スミス—歴史1:42）。

ジョセフが1838年に書き始めた歴史の中に、モロナイが警告したことが次のように記されています。「(父の家族は貧しい暮らしをしていたので)金持ちになるために版を手に入れるように、サタンがわたしを誘惑しようとするであろうと告げられた。」天使はこのようなことのないように命じ、神の王国を築こうとする以外の「動機」を持てば「それを手に入れることはできない」と告げたと、ジョセフは述べています（ジョセフ・スミス—歴史1:46）。それ以前の1832年の歴史の中で、ジョセフは次のように説明しています。「わたしは……富を得るために版を得ようとして、神の栄光にひたすら

目を向けるようにという戒めを守らなかった。」¹¹ その結果、版を受け取る備えができるまで4年間、毎年その丘へ行く必要がありました(ジョセフ・スミス—歴史1:53-54参照)。

最終的に1827年にモロナイから版を手に入れたとき、それを翻訳する際に用いる二つの石も受け取ったと、ジョセフは述べています。彼も親しい知人たちが、これらの石について記録を残しており、石の外見は白あるいは透明^{つる}であって、現代の眼鏡のように銀の弦^はつまり縁にはめ込まれ大きな胸当てにつけられていたと述べています。¹² ここで述べられているように、その聖見者の道具はかさ張るものだったことでしょう。ジョセフ・スミスは石を使うときに、扱いやすいように胸当てから取り外したと、母親は述べています。¹³

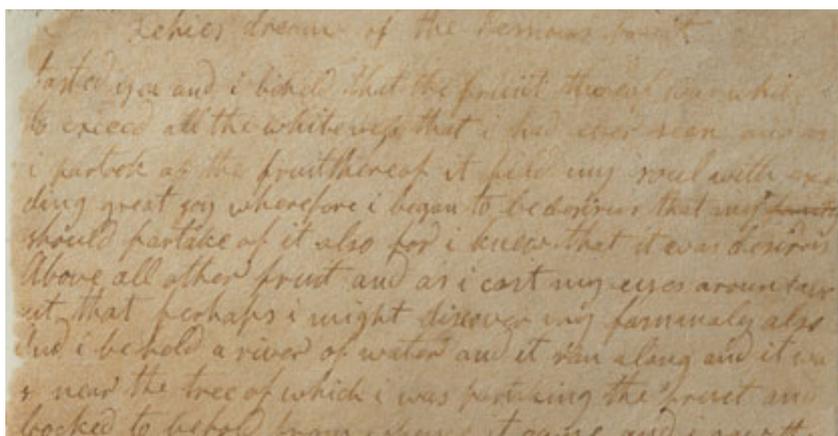
モルモン書の本文では、これらの石は「解訳器」と呼ばれており、「世の初めから用意され、言語を解訳するために代々^よ伝えられたもので」あって、「主が御自分の手により守り、保存してこられたものである」と説明されています(モーサヤ28:14-15, 20)。

主がヤレドの兄弟に一つの約束とともに「二つの石」をお与えになった次第についても、モルモン書に述べられています。その約束とは、後世の人々がヤレドの兄弟の言葉を再び得るためにそれらの石が役立つということです。主は彼に次のように命じられました。「これらのことを書き記して封じなさい。わたしは自分がふさわしいと思うときに、これらのことを人の子らに知らせよう。」主はこう述べておられます。「あなたが書き記すこれらのことを、これらの石によって人々の目に明らかにさせよう。」(エテル3:24, 27)

ジョセフ・スミスがモルモン書の口述翻訳を終わった1829年半ばまでに、「聖見者」の意味がその本文の中でさらに明確にされていました。モルモン書にはエジプトのヨセフが語った預言が記されており、彼の子孫の一人

——明らかにジョセフ・スミス——が「えり抜きの聖見者」として、神が先祖と交わされた「聖約を〔別の子孫に〕知らせる」と述べられています(2ニーファイ3:6, 7)。

モルモン書の別の記録の中で、息子アルマ



教会歴史図書館の厚紙に写した複製。画像を鮮明に加工した写真

が彼の息子ヒラマンに解訳器を渡しています。アルマは彼に、銀の弦にはめられた二つの石のことに触れて、「この解訳器も保存しなさい」と告げています。しかしアルマは、単一の石を指すと思われる預言も引用しています。「また、主は言われた。『わたしは暗闇の中で輝いて光を放つ一つの石を、わたしの僕ガゼレムのために用意しよう。』」(アルマ37:21, 23)

特にこの預言は「解訳器」(複数形)の文脈で述べられていますが、将来の僕に「一つの石」(単数形)が与えられることを告げています。その石は「暗闇の中で輝いて光を放〔ち〕」ます。¹⁴ 初期の末日聖徒は、預言されたこの僕はジョセフ・スミスであると信じていました。¹⁵

実際に、史実が示しているように、ジョセフ・スミスはモルモン書を翻訳する際に、「解訳器」として知られる二つの聖見者の石の他に、少なくとも一つ、別の聖見者の石を使用しました。光を遮るために、しばしばそれを帽子の中に入れて用いています。ジョセフの友人

モルモン書のオリジナル原稿を撮影したもの。現在の1ニーファイ2章の一部で、リーハイの家族がエルサレムを去ったことが書かれている。ジョセフ・スミスはモルモン書を口述し、数人の筆記者が書き取った。この箇所について筆記者を務めたのはオリバー・カウドリである。



「ジョセフ・スミスに版を渡す天使モロナイ」C.C.A. クリステンセン 画

教会歴史のいつの時代にも、教会員は、ジョセフ・スミスに関する初期の歴史と、彼が金版を見つけて翻訳した歴史を理解しようとしてきた。画家のC・C・A・クリステンセンが1886年に描いたこの絵は、ジョセフ・スミスが天使モロナイから版を受け取る場面を描いたものである。

たちによれば、彼はこうして石の上の言葉がよく見えるようにしたということです。¹⁶

1833年までに、ジョセフ・スミスと同僚たちは、神の啓示を受けるために使った石が何であろうと、それを指すのに「ウリムとトンミム」という聖書の言い方を用いるようになりました。ニーファイ人の解訳器と単一の聖見者の石の両方を含めてこう呼んでいます。¹⁷ このように言葉の使い方が曖昧なため、ジョセフ・スミスがモルモン書を翻訳した実際の方法を特定するのが難しくなったのです。マーティン・ハリスによれば、解訳器を用いる他に、ジョセフは、モルモン書の翻訳時に扱いやすい聖見者の石の一つを使いました。他にも、ジョセフが翻訳の道具を変えたことを裏付ける資料があります。¹⁸

モルモン書の出版後

1830年3月にモルモン書を出版した後、ジョセフ・スミスと筆記者たちは、「聖書のジョセフ・スミス訳」として現在知られているものの作業に取りかかりました。預言者として、欽定訳聖書の改訂を行ったのです。¹⁹ ジョセフの記録によれば、この翻訳作業では、ニーファイ人の解訳器を用いる選択肢はありませんでした。もうそれを持っていなかったからです。

「ジョセフ・スミス—歴史」にはこう説明されています。

「わたしが求められたことをそれらによって成し遂げるまで、〔版と解訳器は〕神の知恵によって、わたしの手の中で無事であった。そして、前もって定められたとおり、使者がそれらを取りに来られたとき、わたしはそれらを使者に引き渡したのである。そして、……今日まで、その使者がそれらを管理しておられる。」(ジョセフ・スミス—歴史1:60)

ブリガム・ヤング大管長(1801-1877年)はそのことを次のように説明しています。「ジョセフは翻訳を終えたとき、版と一緒にUT〔ウリムとトンミム〕を返しました。」²⁰

ジョセフは他にも聖見者の石を複数持っていました。しかし、十二使徒定員会会員であり後に教会歴史家となったオーソン・プラット長老(1811-1881年)が語ったところによれば、ジョセフの霊的理解力は、このときまでに成熟の域に達していました。ブリガム・ヤング大管長や他の多くの中央幹部が出席した1874年6月28日の集会で、プラット長老は、会衆に、ジョセフ・スミスが「新約聖書を翻訳していた」ときに自分は「何度もその場に立ち会った」と告げました。その翻訳の過程で解訳のための道具が用いられるのを見なかったため、プラット長老は、どうしてジョセフが「モルモン書の翻訳のときのようにウリムとトンミムを使わない」のかいぶかしく思いました。

プラット長老が翻訳する預言者を見ていると、「ジョセフはまるで彼の思いを読み取ったかのようで、顔を上げ、主がウリムとトンミムを与えられたのはまだ靈感の霊^{みたま}について経験が浅かったためであって、今ではその御霊の働きを理解できるまでに成長したためその道具の助けを借りる必要がなくなったと説明しました。」²¹

ブリガム・ヤングは、聖見者の石を受け取っていることについて、ある会衆に自分の思いを次のように語りました。「わたしはこれまで、それが欲しいと思ったことはありません。」²² この言葉から、ブリガムは、聖見者の石は聖見者となるために必須のものではないと理解していたことが分かります。

1831年10月25日、ジョセフ・スミスはオハイオ州オレンジで大会に出席しました。その大会中に、兄ハイラムは、「全ての人を知ることができるように、ジョセフ自身が、出席している長老たちに、モルモン書が世に出るに至った経緯を述べるのが最善であると思う」と述べました。議事録によれば、ジョセフは、「モルモン書の出現の詳細について



1860年の半頃の写真。教会歴史図書館の蔵品の複製。クレジット：リチャード・E・タウラー・ジュニア

フィニアス・ヤング（ヤング家の兄弟たちの中央に座り、右隣はブリガム・ヤング）は、モルモン書の翻訳に使われた聖見者の石をオリバー・カウドリから受け取り、それを弟のブリガムに渡した。



写真：ウエルチン・C・アンダーセンとリチャード・E・タウラー・ジュニア

この写真の石は、長年ジョセフ・スミスとモルモン書の翻訳に関係のあったものである。ジョセフ・スミスがモルモン書の翻訳作業に使った石は、卵形で、チョコレート色の石であったとよく言われている。この石は、ジョセフ・スミスからオリバー・カウドリに、そしてその後、ブリガム・ヤングやその他の人々を通して教会に提供された。

聖見者の石に何が起こったか

ジョセフ・スミスの歴史によれば、彼はウリムとトンミム、すなわちニーファイ人の「解訳器」を天使に返しました。しかし、ジョセフがモルモン書を翻訳するときに使った別の聖見者の石（単数または複数）はどうしたのでしょうか。

デビッド・ホイットマーはこう記しています。「モルモン書の翻訳が終わった後、1830年の春の初め、4月6日以前に、ジョセフはオリバー・カウドリにその石を渡し、わたしにも他の人たちにも、翻訳を終えたのでもう石を使うことはないと言った。」¹

1848年に再バプテスマを受けるまで10年間教会を離れていたオリバーは、西部へ行ってユタで聖徒たちとともに暮らすつもりでしたが、旅に出る前に、1850年にミズーリ州リッチモンドで亡くなりました。² オリバー・カウドリを教会に連れ戻す助けをしたフィニアス・ヤングは、オリバーの残された妻、すなわちデビッド・ホイットマーの妹エリザベス・アン・ホイットマー・カウドリから聖見者の石を受け取りました。その後、フィニアスは、弟のブリガム・ヤングにそれを渡しました。³

「わたしはOC〔オリバー・カウドリ〕からもらったジョセフの最初の聖見者の石を持っています」と、1853年にヤング大管長はその事実を認めています。他にも聖見者の石が複数ありました。彼はこう付け加えました。「ジョセフは3個持っていました。今はエマが持っています。小さいものを2個、大きいものを1個です。」⁴ それから2年後、ブリガム・ヤングは、集まっていた大勢の教会指導者に次のように言いました。「オリバーはわたしにジョセフの最初の聖見者の石を送ってくれました。わたしに送るまで、オリバーはずっとそれを保管していました。」⁵

ブリガム・ヤングが亡くなった後、妻の一人で、後に第3代中央扶助協会会長となったザイナ・D・H・ヤングは、遺品としてチョコレート色の聖見者の石を受け取りました。石は、ジョセフがモルモン書を翻訳するために使った石の説明に合致していました。ザイナはそれを教会に寄贈しました⁶ 以来、その後の教会指導者は、教会が聖見者の石を所有していることを認めています。⁷

注

1. デビッド・ホイットマー, *An Address to All Believers in Christ* (1887年), 32
2. オリバー・カウドリが生前に教会に戻ったことに関する詳細については、スコット・F・ファウリング, "The Return of Oliver Cowdery," を参照。ジョン・W・ウェルチ, ラリー・E・モーリス共編, *Oliver Cowdery: Scribe, Elder, Witness* (2006年), 321 - 362 で引用
3. 議事録, 1855年9月30日, 教会歴史図書館, ソルトレーク・シティー: "David Whitmer," *The Historical Record*, 1888年10月, 623; デビッド・ホイットマーに宛てたマリア・L・カウドリ・ジョンソンの手紙, 1887年1月24日付, コミュニティ・オブ・クライスト図書館・文書館, ミズーリ州インディペンデンス; フランクリン・D・リチャーズの日記, 1882年3月9日, 教会歴史図書館を参照
4. 議事録, 1853年4月17日, 教会歴史図書館
5. 議事録, 1855年9月30日, 教会歴史図書館
6. フランクリン・D・リチャーズに宛てたザイナ・ヤングの手紙, 1896年7月31日付参照, *Journal History of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints*, 1896年7月31日, 教会歴史図書館で引用
7. B・H・ロバーツ, *A Comprehensive History of the Church*, 第6巻, 230 - 231; ジョセフ・フィールドینگ・スミス, *Doctrines of Salvation*, ブルース・R・マッコンキー編, 全3巻 (1954 - 1956年), 第3巻, 225; ブルース・R・マッコンキー, *Mormon Doctrine*, 第2版 (1966年), 818 - 819 参照



教会歴史図書館の蔵品の複製による複製画

1883年に、
教会発行の機関誌
『ザ・コントリビューター』
(*The Contributor*)は
モルモン書の三人の証人を
特集した。
末日聖徒は、ジョセフ・スミスが
モルモン書を翻訳し
出版するに当たって、この三人が
きわめて重要な役割を
果たしたことを長年認めてきた。

全てを世の人々に告げるつもりはないと言
い、また「これらのことを話すのは適切では
ない」と述べました。²³ 聖見者としての務めを
十分に果たせるようになり、聖見者の石が
啓示を受けるのに必須のものではないと確信
するに至ったため、おそらく彼は、モルモン書
が世に出た方法に人々があまりにも心に向け
すぎて、書物そのものに注意を払わなくなる
のではないかと心配したのでしょう。

ジョセフ・スミスがモルモン書の翻訳に
関連して成し遂げたことで最も際立っている
点は、「神の賜物と力によって」それを行った
ことでした。²⁴ モルモン書は「この世で最も
正確な書物であり、わたしたちの宗教のか
なめ石」であって、その教えに従うことにより、
読者は「ほかのどの書物にも増して神に近
づくことができる」と、ジョセフは教会の指導者
たちに教えました。²⁵ ■

注

1. 教義と聖約第 115 章参照
2. Preface to Book of Mormon, 1829 年 8 月頃。The Joseph Smith Papers の Documents シリーズ第 1 巻, Documents, Volume I: July 1828 - June 1831, (2013 年), 93 で引用。モルモン書「三人の証人の証」も参照
3. 出エジプト 4:1-5, 17, 20-21; 7:8-21; 8:16-19; 9:22-26; 10:12-15; 14:15-18; 17:1-13; 民数 17:1-10; 20:7-11; ヘブル 9:4 参照
4. 民数 21:7-9; ヨハネ 3:14-15 参照
5. 出エジプト 28:12; 35:9, 27; サムエル上 23:9-12; 30:7-8 参照
6. 出エジプト 28:30; レビ 8:8; 民数 27:21; 申命 33:8; サムエル上 28:6; エズラ 2:63; ネヘミヤ 7:65 参照
7. この 19 世紀の宗教文化に関する詳細については, The Joseph Smith Papers の Journals シリーズ第 1 巻, Journals, Volume I: 1832 - 1839, (2008 年), xix; The Joseph Smith Papers の Revelations and Translations シリーズ第 3 巻, Revelations and Translations, Volume 3: Printer's Manuscript of the Book of Mormon, (2015 年), xv-xvi; ダリン・H・オークス, "Recent Events Involving Church History and Forged Documents," Ensign, 1987 年 10 月号, 68-69 を参照
8. ジョセフ・スミス・シニアの言葉を参照。フランシス・W・カーカム, A New Witness for Christ in America: The Book of Mormon, 第 2 巻 (1959 年), 366 で引用。ルーシー・マック・スミス, "Lucy Mack Smith, History, 1844 - 1845," 第 3 巻, 10 ページ, josephsmithpapers.org/paper-summary/lucy-mack-smith-history-1844-1845 も参照。マーティン・ハリスは, 干し草の山の中からピンを見つけ出すようジョセフに依頼することによって彼の能力を試した思い出を語っている ("Mormonism - No.II," Tiffany's Monthly, 1859 年 7 月号, 164 参照)。
9. 例として, 高価な真珠のジョセフ・スミス—歴史を参照
10. 教義と聖約 130:10-11 参照。現在教義と聖約第 8 章となっている記録の, 最も早い時期の表現も参照。これは, モルモン書を翻訳しているジョセフ・スミスを助けたいと思ったオリバー・カウドリに向けられたものである (Revelation, Apr. 1829-B, Documents, Volume I: July 1828 - June 1831, 44-47)。
11. ジョセフ・スミス, "History, ca. Summer 1832". The Joseph Smith Papers の Histories シリーズ第 1 巻, Histories, Volume I: 1832 - 1844, (2012 年), 14 で引用
12. ジョセフ・スミス—歴史 1:35; ジョセフ・スミス, "Church History," Histories, Volume I: 1832-1844, 495 で引用; マーティン・ハリス, "Mormonism - No.II," 165-166 で引用; "Lucy Mack Smith, History, 1844 - 1845," 第 5 巻, 7-8, josephsmithpapers.org を参照
13. 例として, "Lucy Mack Smith, History, 1844 - 1845," 第 5 巻, josephsmithpapers.org を参照
14. 当然のことながら, 注釈者たちはこの違いに頭を悩ました。例として, ブルース・R・マッコンキー, Mormon Doctrine, 第 2 版 (1966 年), 307-308; ジョセフ・フィールディング・マッコンキー, ロバート・L・ミレット共著, Doctrinal Commentary on the Book of Mormon, 全 4 巻 (1987-1992 年), 第 3 巻, 278; マシュー・B・ブラウン, All Things Restored: Confirming the Authenticity of LDS Beliefs (2000 年), 62 を参照
15. ウィリアム・W・フェルプス, Funeral Sermon of Joseph and Hyrum Smith, 教会歴史図書館, ソルトレーク・シティー; オーソン・プラット, "Explanation of Substituted Names in the Covenants," The Seer, 1854 年 3 月号, 229; ウィリアム・W・フェルプス, プリガム・ヤングへの手紙, 1854 年 4 月 10 日付, プリガム・ヤング事務所ファイル, 1832-1878 年, 教会歴史図書館, ソルトレーク・シティー; The Joseph Smith Papers の Revelations and Translations シリーズ第 2 巻, Revelations and Translations, Volume 2: Published Revelations, (2011 年), 708-709 を参照
16. 翻訳の詳細については, "Book of Mormon Translation," を参照。lds.org/topics/book-of-mormon-translation で閲覧可能である。ラッセル・M・ネルソン, "A Treasured Testament," Ensign, 1993 年 7 月号, 61-65; ニール・A・マックスウェル, "By the Gift and Power of God," Ensign, 1997 年 1 月号, 36-41 も参照
17. 例えば, ウィルフォード・ウッドラフは, ノープーで見た聖見者の石をウリムとトンミムと呼んでいる (ウィルフォード・ウッドラフの日記, 1841 年 12 月 27 日, 教会歴史図書館)。Revelations and Translations, Volume 3: Printer's Manuscript of the Book of Mormon, xix も参照
18. Revelations and Translations, Volume 3: Printer's Manuscript of the Book of Mormon, xviii-xix 参照
19. この取り組みを開始したことの要約については, Documents, Volume I: July 1828 - June 1831, 150-152 を参照
20. 議事録, 1853 年 4 月 17 日, 教会歴史図書館
21. "Two Days' Meeting at Brigham City, June 27 and 28, 1874," Millennial Star, 1874 年 8 月 11 日付, 498-499
22. 議事録, 1855 年 9 月 30 日, 教会歴史図書館
23. 議事録, 1831 年 10 月 25-26 日。The Joseph Smith Papers の Documents シリーズ第 2 巻, Documents, Volume 2: July 1831 - January 1833, (2013 年), 84 で引用
24. Preface to Book of Mormon, 1829 年 8 月頃。Documents, Volume I: July 1828 - June 1831, 93 で引用。モルモン書「三人の証人の証」も参照
25. ジョセフ・スミス。ウィルフォード・ウッドラフの日記, 1841 年 11 月 28 日, 教会歴史図書館; またはモルモン書序文

翻訳の過程を描いた絵

長年にわたり何人もの画家が、モルモン書の翻訳の様子を描こうと努めてきました。登場人物にいろいろな場面ですさまざなポーズを取らせ、多様な物と一緒に描いています。それぞれの画家の解釈は、画家自身の見解、研究調査、創作力に基づいており、時折他の人々からの情報と指示による助けを得ています。長年にわたって制作されてきたものの一部を以下に紹介します。



「モルモン書を翻訳する」ジョセフ・スミス、デル・パーソン画

モルモン書の翻訳に取り組む
ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリを描いたもの。
ここに描かれている場面とは異なり、
オリバー・カウドリは、翻訳が終わるまで版を見たことはない述べている。
翻訳の過程を見た人たちは、翻訳中、版は亜麻布で覆うなどして
人の目に触れないようにされていたと述べている。

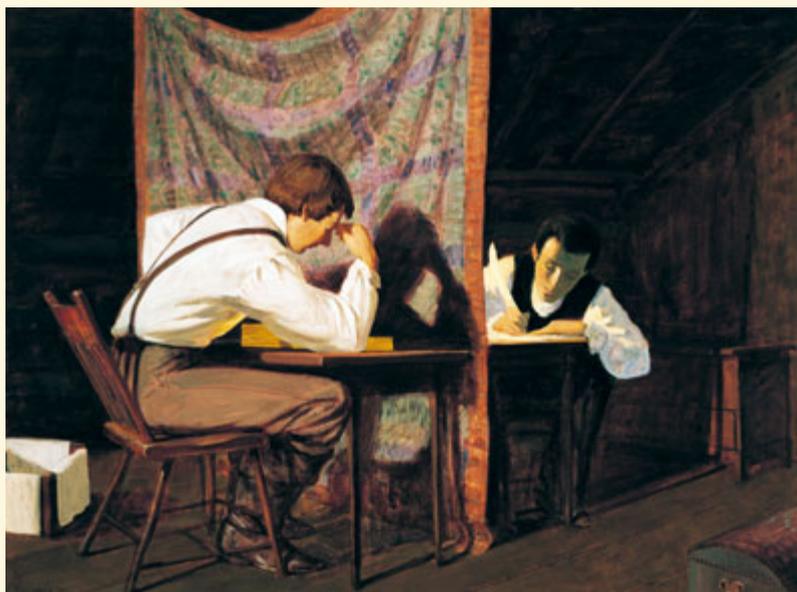
版を研究する
ジョセフ・スミスを
想像して描いたもの。
ジョセフは版から
「かなりの文字を写し取〔った〕」
と述べている。
ジョセフが
「ウリムとトンミムによって」
これらの文字を翻訳した後、
マーティン・ハリスは
翻訳を確認するために、
チャールズ・アンソンをはじめ
学者たちのところへ
その文字を持って行った
(ジョセフ・スミス—歴史
1:62-64)。



解訳器すなわち
眼鏡のついた胸当てを身に着けて翻訳する
ジョセフ・スミスを想像して描いたもの。
この眼鏡は後にウリムとトンミムと呼ばれた。



イラスト/ロバート・T・バレット



「版の翻訳」アール・ジョーンズ画。教会歴史美術館博物館の複製にこの複製

毛布で仕切って翻訳を行うジョセフ・スミスと筆記者を描いたもの。
翻訳の過程を述べたほとんどの説明で、毛布のことはまったく述べられていない。
しかし、最初の頃は、筆記者が版や眼鏡、胸当てを目にすることのないように、
毛布が使われていたことは明らかである。
翻訳作業の後半には、翻訳を好奇の目で見たがる人々から翻訳者と筆記者を遮蔽するために、
毛布が使われた可能性はある。

世界 を変える 言葉

ガーナ・アクラ西伝道部会長
ノーマン・C・ヒル

ガーナのある
地方部評議会は、
ともに評議し、
地元のリソースを
活用することにより、
個人の成長と
奉仕の機会を
もたらすことを
示しています。

ガーナのビダ・オセイ姉妹は英語の読み書きを学びたいと思っていました。地域の講座に何度も参加してみましたが、いつもやる気を失って数週間のうちにやめてしまいました。ある日曜日、第二支部の集会に集ったとき、アサマンケセ地方部が英語の読み書きのプログラムを後援していることを知りました。彼女はこの機会を生かして受講することにしました。

程なくして、このプログラムは他のものとは違うことに気づきました。教会の友人と一緒に参加できますし、教材として聖典を使っているため、英語と福音を同時に学ぶことができるのです。

受講を開始して2か月後、ビダは初めてクラスで祈りをささげました。その1か月後には、初めて聖餐会^{せいさん}で話をしました。話のある部分は地元のアフリカ言語であるトゥイ語で、残りは英語で話しました。受講開始から4か月後、彼女はほろほろのノートに、自営の仕立て屋の注文や費用、価格を書くようになりました。客との間のミスが減り、業者からもっと安い価格で材料を仕入れ、それまでのどの月よりも高い売り上げを計上しました。

彼女はこう言います。「わたしは恥ずかしがり屋なので、知らない人と一緒に読み書きのクラスに出席することができなかったのですが、知っている会員たちと一緒に集会所で講座を受けられたので、もう一度やってみる勇気が湧きました。そうすることで今は、聖文を読むことができますし、英語の読み書きのおかげで商売の業績を上げることもできています。」

サハラ以南のアフリカでは、大勢の人、特に女性は読み書きができません。非識字が広範囲に及んでいるため、アフリカの古いことわざにはこんな言葉があります。「内緒にしたいことは、本に書け。」しかし、ビダのような末日聖徒の女性たちの識字率は高まっています。







地方部後援の
読み書きプログラムの
卒業式で祝う参加者と家族、友人

乗り越えるべき課題

大半のサハラ以南のアフリカ諸国では、インフラと学校教育が整備されていないので、特に少女に与えられる機会が限られています。教育費が高く、社会における少女の地位が制限されているため、多くの人にとって字を読むことは容易に身につけられる技術ではありません。例えばガーナでは、英語は公用語であるにもかかわらず、英語を話す成人女性は半分にも満たないと推定されています。ガーナの地方では、成人女性の3分の2は読み書きができません。

「ガーナの町や村に住む成人女性の大半は英語を話しません」と、ガーナ・アクラ西伝道部、アボモス地方部会長のセス・オポンは言います。「何世紀にもわたって、わたしたちは地元の言語であるトゥイ語を話し言葉として使ってきました。最近になってようやくトゥイ語のアルファベットができましたが、読める人はあまりいません。」

「姉妹たちは、福音の原則や教会の方針を理解するために、人に頼らざるを得ません。結婚していれば大部分を夫に、結婚していなければ友人の口述に頼るのです」と、地方部扶助協会会長のジョージナ・アモアカ姉妹は説明します。「大勢の人が奉仕したいと心から望んでいますが、手引きや機関誌が読めないため、教会の奉仕に携わる機会は限られています。」

評議会における評議

女性は家庭や市場で英語を話さないため、教会に来ることが言語を学ぶ何よりの動機となります。しかし、昔からの会員も新会員も、読み書きプログラムについて家族の反対に会うことがあります。地方部評議会はこの問題について話し合い、その後オポン会長は各支部の神権指導者と補助組織の指導者たちに、地方部全体を対象に読み書きの訓練を実施することを伝えました。このプログラムは地域の全ての女性を対象としていましたが、特に教会員の女性に焦点が当てられました。個人を個別に誘うのではなく、グループごとに参加を呼びかけました。例えば、扶助協会会長と初等協会会長が一緒に参加すれば互いに助け合うことができます。

支部との話し合いに基づき、地方部指導者は、読み書きのクラスを日曜日と平日の2日間にそれぞれの支部で開くことを決めました。6か月間の集中的な取り組みの結果、定期的に参加し必須課題を完了した人に修了証書が授与されました。

それぞれの必要に応じたリソース

「課題の一つは、話し言葉しか知らない人に読み書きを教えることでした」と、この地方部で奉仕するシニア宣教師のジム・ダルトン長老は説明します。「トゥイ語は昔から、文字のない話し言葉だけの言語であったため、トゥイ語を話す人のほとんどはこの言語のつづり方を知りません。そのため、まず書き方を学ぶことから始めなければなりませんでした。」

アボモ地方部高等評議員のランスフォード・ダークワ兄弟は二人の帰還宣教師、フランシス・アンサーとセセリア・アマンクワーと協力して、地元で作成された手引きを用いました。参加者は絵を見て、見た内容について書くよう求められました。これは、英語で考える力を会得するとともに、書くための基本的な技術を伸ばす助けとなりました。幾つかの基本的な能力が身についたら、次はさらに高度な教材を使うことができました。

準備と革新

このプログラムが始まる前、読み書きのスペシャリストは、学習方法だけでなく、実践的な衛生学と家庭生活の様々な技術について講師たちを訓練しました。しかしどんなに素晴らしい訓練でも、クラスが始まって直面する問題を全て予見することはできませんでした。例えば、この地域で頻繁に停電が起こったために、夜のクラスを実施することが困難になりました。また、荒くれ者の採金者らが夜の巷を徘徊しているといううわさが不安をおおったこともありましたが、鍵を持っている人が時間どおりに来なかったために教会の建物を開けられないことも度々ありました。

地方部評議会は、何をする必要があるかについて再び話し合いました。評議会の呼びかけに応じて、参加者たち



靈感による自立

「教会の福祉においては、全てに当てはまるような答えはありません。この自立支援プログラムでは、個人がそれぞれの自立に責任を負います。わたしたちのリソースには、個人の祈り、神から与えられている才能や能力、家族や親族を通して利用することのできる資産、地域のさまざまなリソース、そしてもちろん、神権定員会と扶助協会の思いやりに満ちた支援などがあります。……

結局のところ、皆さんは自分の地域で、キリストの弟子たちがあらゆる神権時代に行ってきたことを行わなければなりません。すなわち、ともに話し合い、利用できるあらゆる手段を使い、聖霊の導きを求め、主に確認を求め、その後、袖をまくって仕事に取りかかるのです。」

大管長会第二顧問
ディーター・F・ワークトルフ管長
「主の道にかないて助けをなす」
「リアホナ」2011年11月号、
53 - 56

はクラスとともに集うようになりました。小道を安全に歩けるように懐中電灯が支給されました。地元の指導者たちは夜間に教会の建物で電気をつけられるように、発電機の使用を許可しました。教会の建物の近所に住む信頼のおける会員たちに鍵が預けられ、時間どおりに建物を開けられるようになりました。

卒業式での発表

61人の会員と求道者がプログラムを開始し、43人が全講座と課題を修了しました。卒業式で、卒業者は短い発表を行うよう勧められました。

「読み書きプログラムが始まる前は、まったく読めませんでした」とサンクベナセ支部のサンドラ・オベン・アモーが言いました。「夫が仕事で留守のときは、家庭の夕べを開いたことがありませんでした。数週間前に夫が留守だったとき、長男の助けを借りながら手引きを読み、子供たちに英語でレッスンをしました。それ以来、夫が留守のときにはいつもそうしています。」

英語力が限られていたにもかかわらずアボモス第二支部の忠実な会員であり続けたプロスパー・ゲケテ兄弟は、自分で書いた3つの文章から成る証あかしを読み上げました。クラスが始まる前は読み書きができなかったが、今は子供たちの宿題を手伝えるようになったと話しています。「学んだおかげで、よりよい父親になることができました。」

「自分で聖典も読めます」とクワベン支部のカワク・サス兄弟は言います。「以前は、モルモン書を読めませんでした、それが真実だと知っていました。今は、それを読んだのでそれが真実だと知っています。証がどんどん強まっています。」

アソナフォ支部扶助協会会長は、毎週木曜日を英語だけで話す日にしたと言いました。「互いに言うべき良い言葉を思いつかないために話が長くなることがありました」と扶助協会会長のエプリン・アジェイワー姉妹は言います。「でもすぐに、適切な言葉を探しながら互いに通訳をするようになりました。一緒に学んでいたので、間違った言葉を言うてしまうことを恥ずかしく思ったり恐れたりせずに済みました。互いに助け合うことができたのです。」

豊かな恩恵

アボモス地方部の読み書きプログラムを修了した女性は、以前よりも自分に自信が持てるようになり、さらに教会に積極的に参加するようになった、と報告しています。彼らはさらに進んで召しを受け入れ、聖典を読み、教会と家庭で教えるようになりました。何人かの男性もこのプログラムを修了しました。その多くが自営の農業者である彼らは、コストや生産物の売上高の計算をしたり、子供に宿題を教えたり、個人で、また家族と、聖文を読んだりすることができるようになったと言います。

アボモスにおける成功に励まされ、近隣のアサマンケセ地方部も独自の読み書きプログラムを開始しました。

「読み書きの能力はわたしたちと子供たちの生活を変えつつあります」とサンクベナセ支部のグラディス・アセイドゥは言います。「言葉のおかげで世界が変わりつつあり、天の御父に感謝しています。」■





中央若い女性会長会
第一顧問
キャロル・F・
マッコッキー

青少年に教える

救い主の方法に従って 指導するには

青少年は単に
未来の指導者であるだけではありません。
現在も既に指導者なのです。
彼らが救い主のように指導できるよう
助けることができます。

青少年の親や指導者に対して、十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、わたしたちは微妙なバランスを取る必要があるとして、次のように語っています。「若い人々に行動を起こしてもらってください。皆さんはそこに立ち合う必要はありますが、立ちだかることのないようにしてください。指示は与える必要がありますが、それで拘束しないでください。」¹

親や指導者は、若い男性や若い女性が原則を学び、それによって義にかなった指導をし、地上における神の王国を打ち立てるための備えができるよう、助けることができます。

わたしは14歳のとき、実に優れた指導者であった若い女性たちと出会う機会がありました。当時、わたしの家族は引っ越しでアメリカ合衆国を横断し、新しいワードの会員になったばかりでした。そのとき、マイアメイドのクラスの会長会で誰が奉仕していたのか、まったく覚えていません。でもはっきりと覚えているのは、若い女性たちがわたしに特別優しく接してくれたということです。おどおどしたやせっぽちの新しい女の子を、彼女たちはまるで行方不明になっていた友人が久しぶりに帰って来たかのように真心から受け入れ、歓迎してくれたのです。それまで住んでいたデラウェア州で

は、わたしは通学する中学校でただ一人のモルモンでしたし、わたしが知っている範囲で、もう一人だけいたモルモンの女の子は我が家から車で1時間ほどの所に住んでいました。わたしは「天国ってきっとこんなところに違くないわ」と思ったものです。

生涯で初めて、わたしは『若人の強さのために』で述べられている標準に従って生活している友人に囲まれるようになったのです。彼女たちは、活動に参加しようと誘ってくれましたし、わたしと同じ福音の証^{あかし}を述べていました。彼女たちの愛と優しさに満ちた模範のおかげで、当時は、話を聞いたり、レッスンに参加したりするよりも、はるかに強く末日聖徒イエス・キリスト教会につながり認められていたのです。愛とキリストのような光に包まれた彼女たちは、存在そのものがキリストの福音のメッセージであって、わたしを主の群れに導き、連れて行ってくれる仲間だったのです。

どうして、わたしの新しい友人たちは偉大な指導者でいることができたのでしょうか。

ある若い宣教師は、指導力というものを非常に簡潔に定義しました。「わたしたちは適切なきに適切な場所^{みこころ}において、主の御心を行い、わたしたちの助けが必要な人を助ける必要があります。それができれば、指導者になれます。」²教会の中にはどこでも、自分たちが何者であるかを知り、キリストの光を輝かせている、信仰深い若い男性や若い女性たちがいます。彼らには、**救い主に倣って人を導き**、『イエス・キリストに真に従う者となるよう〔人々を〕助ける』能力が与えられています。³

わたしたちは指導者として、教会の若い男性や若い女性を教え、導き、ともに歩みます。しかしながら、クラスや定員会の実務を指導し、指示を出したりする責任は、クラスや定員会の会長会にあります。その責任の中には、日曜日の

レッスンを選んだり、平日の活動の計画を立てたりすることも含まれます。クラスや定員会の指導者は、神権の鍵を持つ人々の指示の下に召され、任命されます。つまり、その人々には、他の青少年を指導し、強めるための権限が与えられているということです。指導者たちは救い主の模範に従い、救い主がされたように仕えることを学び、救い主がされたように教え導くことを学びます。

青少年が指導力を発揮する機会

指導力の養成は家庭から始まります。十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老はこう教えています。「親であれ指導者であれ、神への務めを果たす第一歩は、模範により導く、すなわち、家庭の中で常に熱心に、福音の原則に従って生活することです。それには毎日の決意と努力が必要です。」⁴ 親はキリストの教義を教えます。そして、青少年たちが目標を設定し、達成できるよう助けます。「成長するわたし」や「神への務め」は、青少年がイエス・キリストの証を強め、神聖な聖約を交わしたり、守ったりする備えをするうえで、助けになります。また、家族や家庭や教会にあって、神から託された役割や責任を果たすための助けにもなります。

教会では、アロン神権や若い女性の指導者は、定員会やクラスの会長会で奉仕する青少年を対象に、彼らが神聖な責任を理解し、その召しを尊んで大いなるものとし、それによって定員会やクラスの他の会員たちを養い、強めることができるよう助けます。

わたしたちは成人の指導者として、青少年が定員会やクラ

スの集会、ミューチャルの活動の運営ができるよう備えさせます。また、会長会集会で青少年たちと会合を持ちます。その中で、彼らは、問題を抱えている人々に仕えたり、日曜日のレッスンに全ての青少年を招いたり、また、活動や奉仕プロジェクト、キャンプ、ユースカンファレンスなどを計画したりするために、その方法を決定します。

わたしたちは青少年の会長会に対して、定員会やクラスの会員をことごとく助けてくれるよう励まし、彼らが救いの業のあらゆる分野に関わることができるよう助けます。その中には、会員伝道活動、改宗者の定着、あまり活発でない人々の活発化、神殿および家族歴史の活動、福音を教えることといったことが含まれます。⁵ 青少年の会長会は、全ての若い男性と若い女性が救い主の御名によって奉仕をし、その羊を養うことから生まれる喜びと祝福を体験することができるよう、手助けします。

指導者の働きは、完璧にレイアウトされたちらしを作成したり、事実満載の講義をしたりすることだけではありません。指導者は、若い男性や若い女性が原則を学び、応用できるよう助けます。その原則に従えば、若い男性と若い女性も救い主に倣って指導することができるようになります。次にそれらの原則から4つを紹介しましょう。⁶

霊的に備える

自分が行う霊的な備えには力があるということを理解できるように、青少年たちを助けてください。聖餐の儀式の中で交わす聖約を信じる信仰を働かせるよう、教えます。キリスト

の御名を受け、いつもキリストを覚え、その戒めを守ること。これを進んで行うことで、聖霊をいつもともにする資格に気づくことができます。聖霊の促しを受け、それを認識し、それに従って行動しているとき、彼らの奉仕の業は決して一人で行っているわけではありません。

また彼らは、熱烈な祈りによって導きを求め、答えを求めて聖文を研究するならば、霊的に備えをすることができます。戒めを守ろうと努力する彼らには、聖霊がその心と思いとに語りかけ、彼らは、自分たちの助けを必要としているのは誰か、また自分たちは何ができるのか、といったことを感じ取り、知ることが



どれくらい指導するのが適切なのか

青少年が、指導について学ぶとき、どれくらいの支えが必要なのか、そのレベルはさまざまです。自分でもっとできるという青少年もいるでしょうし、もっと指導が必要だという青少年もいます。親が、指導について学ぶ子供たちを助けたいと思ったら、一緒に評議の場を設けることができます。また、若い男性や若い女性の会長会と一緒に評議をしたり、ビショップリックを交えて評議をしたりすることもできます。それによって、ワードの青少年一人一人にどれくらいの指導が必要なのかを決めます。

目標 — 若い男性、若い女性一人一人が、自分の今の状況から始めて、さらに進歩できるよう助けます。



できます。クラスや定員会の一人一人に対してキリストの純粋な愛を感じます。

霊的な備えを進めると、自分が主の代理人であり、主の用向きを持つ者であるという自信を持てるようになります（教義と聖約 64：29 参照）。

評議会に参加する

青少年に、評議会の基本的な秩序と啓示を受ける力について教えてください。神により定められたこの話し合いの場には彼らも参加しますが、その機会を通じて、主の教会は統治され、個人や家族が祝福を受けています。⁷ ビショップリック青少年委員会や定員会、クラスの会長会集会も評議の場です。そこでは、青少年は自分の義務について学び、他の人々に仕える責任を引き受けます。

評議会の構成員は、

- 神権の鍵を持つ神権指導者の指示に対して、心を一つにして従います。
- 義、神聖さ、信仰、美徳、忍耐、慈愛、そして兄弟愛の精神の下、互いの考えやアイデアを出し合います。
- 一緒に働き、聖霊の導きに従って、困っている人々を助けるためにどんなことができるか、計画を立てます。

人々に仕え、教え、導く

青少年は、愛と思いやりをもって人々に仕え、教え、導くとき、救い主の方法に倣って指導をします。預言者ジョセフ・スミスはこう教えました。「人々に罪を捨てさせるために、

手を取り、優しく見守ること以上に良い方法はありません。人々が少しでも優しさと愛を示してくれるとき、それはわたしの心にどれほどの力を与えることでしょう。』⁸

救い主は、一人一人が貴くかけがえのない価値を持つ存在であると教えられました（教義と聖約 18：10 - 15 参照）。イエス・キリストは御自分の命をささげ、あらゆる人が主のもとに来ることができるよう、その道を開かれました。青少年が栄光に満ちたその真理を理解できるよう、助けてください。主がしてくださったことに対して感謝の心を抱くと、真の主の僕^{しもべ}は、愛と思いやりの精神であらゆる若い男性、あらゆる若い女性に手を差し伸べ、仕えるようになります。救い主がその人々のために全てのことを犠牲にされたのです。

イエス・キリストの福音を教える

若い男性や若い女性が、彼らにも福音を教える機会があることを認識できるよう、また彼らのできる最も大切な教えとは自分の模範を示すことであるということを理解できるよう、助けてください。青少年が預言者の言葉に従って生活し、『若人の強さのために』に書かれている標準を守るようになったら、彼らは救い主の方法に従って導きます。言葉と行いが完全に一致できれば、イエス・キリストの真の弟子とはどうということか、身をもって実践することができます。偽善に陥らずに、主の証人となることができますのです。そうすれば、証を述べるとき、日曜日のレッスンを手伝うとき、あるいは友人に福音の真理を伝えるとき、彼らは御^{みたま}霊に満たされ、その言葉には人を変える力が宿ることでしょう。

救い主の方法で導く

救い主の方法で導くのは、神聖な特権であって、それに応える青少年は、家庭や教会や社会で主に仕えるときに、最善を尽くすよう求められています。救い主の方法で導く若い男性や若い女性たちは、キリストの福音のメッセージとなり、誰かの祈りの答えとなり、困っている人々に仕える天使となり、そして世を照らすキリストの光となるのです。■

注

1. デビッド・A・ベドナー, "Youth and Family History," lds.org/youth/family-history/leaders
2. 2015年3月13日付, キャロル・F・マッコスキーの孫からの手紙
3. 『手引き第2部 — 教会の管理運営』3.1
4. ロバート・D・ヘイルズ「神に対するわたしたちの義務 — 次の世代に対する親と指導者の使命」『リアホナ』2010年5月号, 95
5. 『手引き第2部』5 参照
6. 『手引き第2部』3.2 参照
7. 『手引き第2部』4.1 参照
8. 『歴代大管長の教え — ジョセフ・スミス』394, 428



家庭の夕べを 尊ぶ

19 15年に、末日の預言者は、週の1日の夕べを家族のために確保するように勧告しました。それは当初「家の夕べ」と呼ばれ、福音を学び、ともに楽しみながら、この世と永遠の関係を強める時間でした。

100年後の今もお引き続き、家庭の夕べは、永遠に続く家族を築く助けとなっています。預言者は、家庭の夕べを通して、わたしたちの心により大いなる信仰と霊的な強さが生まれ、家庭に守りと一致、そして平安がより一層とどまることを約束しました。

わたしたちは皆、地上の家族に属しながらも、天の御父の家族の一員です。世界のどこにいても、また人生におけるどのような状況にあっても、家庭の夕べを尊び、参加することができます。■

左——モウア家族は最近タイに引っ越し、そこで福音を学び、バプテスマを受けました。家庭の夕べで、母語であるミャオ語と新天地の言語であるタイ語でモルモン書を学んでいます。

下——楽しく過ごしたり、ゲームをしたりすることは、ポルトガルのサントス家族が家庭の夕べで緊密な関係を築くための一つの方法です。





右 — コンゴ民主主義共和国では、家族は、父、母、子供という枠を超えます。そのため、スエカメノ兄弟が家庭の夕べのために家族を集めるときにはいつでも、村の多くの人が参加を歓迎されていると感じます。

一番上 — フィリピンのゲルカン姉妹は初等協会の歌と伝統音楽を使って子供に福音の喜びを教えています。

上 — アメリカ合衆国ジョージア州の家の台所で写っているアンダーソン家族は、クッキーを作るのが大好きです。ときどきクッキーをレッスンの一部として、またはそのままおやつとして役立っています。





上 — アメリカ合衆国ワシントン州のレイノルズ兄弟と姉妹は、幼い子供たちが学んで理解できるように、福音を易しく教える方法を探しています。

右一番上から — ボリビアのエスピノザ家族は、尊敬する祖母を家庭の夕べに招き、賛美歌を歌い、福音を学んでいます。

アメリカ合衆国ジョージア州のジン家族にとって、家族歴史は家庭の夕べの大好きな活動です。

韓国の伝統について子供たちを楽しみながら教えています。

オーストラリアのリガートウッド家族は、ときどき家庭の夕べの一環として外出し、市内の美しい場所に行きます。



家庭の夕べのアイデアが必要であれば、
『リアホナ』各号の3ページを参照してください。

ハッシュタグ #FamilyNight を使い、
家庭の夕べの写真やビデオを投稿してください。



facebook.com/liahona.magazine (英語) から
さらに学んでください。



神の計画を
理解し、
それに従順に
従うことで、
天の御父のもとへ
帰るための道から
それることなく
進むことが
できます。



十二使徒定員会
ロバート・D・
ヘイルズ長老

救いの 計画

わたしたちを導く
神聖な知識の宝

前世でわたしたちが成功できたのは、
御父の計画を支持したからです。
現世における成功の鍵も同じです。

わたしはよく、暗く荒涼とした世界をさまよう神の子供たちの絶望的な状況について考えることがあります。彼らは自分が何者であり、どこから、何のために地上に来て、現世の生涯の後はどこへ行くのか知らないからです。

わたしたちはさまよう必要がありません。神はこうした疑問に答えるために永遠の真理を明らかにされました。その真理は、神の子供たちのために立てられた偉大な計画の中にあります。聖典の中で、この計画は「贖いの計画」、¹「幸福の計画」、²「救いの計画」³などと書かれています。

神の計画を理解し、それに従順に従うことで、天の御父のもとへ帰るための道からそれることなく進むことができます。⁴そして、そのようにして初めて、またそのときだけ、御父が送っておられる生活と同じ生活を送ることができるようになります。それが「神のあらゆる賜物の中で最も大なるもの」である「永遠の命」です。⁵

永遠の命の賜物は、どんな努力を払ってでも、救いの計画について研究し、学び、実践するだけの価値があります。全人類は復活し、不死不滅の賜物を受けます。しかし、永遠の命に到達するためには、すなわち神と同じような生活を送るためには、⁶心と思いと勢力と力を尽くして救いの計画に沿った生活をする必要があります。

救いの計画を理解する

この計画を知ることで、何と大きな力がもたらされることでしょうか。救いの計画は、人生の永遠の目的を明らかにしていることから、これまで人類に与えられたきた知識の中でも最も大いなる知識の宝の一つです。この知識がなければ、わたしたちは暗闇の中を本当にさまよっています。そのため、神は「贖いの計画を〔御自身の子供たちに〕示された」後、彼らに戒めをお与えになるという方法を取られています。⁷

わたしの願いは、一人一人がこの大いなる知識の宝を最大限に活用できるよう、すなわち救いの計画をより深く理解し、理解した事柄を日々の生活で応用できるよう、助けることです。

選択の自由

この計画において選択の自由は不可欠ですから、そこから始めましょう。御父は、永遠の真理に従い、行動したり、行動しなかったりする力⁸をわたしたちに与えてくださっています。この永遠の真理とは神を現在の神とし、天を現在の天としている真理のことです。⁹ わたしたちが選択の自由を行使して、これらの真理を受け入れ、それを守って生活するならば、永遠に続く喜びを受けることになります。反対に、選択の自由を使って、神の律法に従わず、それを拒むならば、苦痛と悲しみを味わうことになります。¹⁰

選択の自由という言葉を背景にすると、救いの計画の3つの段階である前世、現世、来世について非常に適切な説明ができるようになります。

前世

『家族——世界への宣言』の中で述べられているとおり、わたしたち一人一人は「天の両親から愛されている霊の息子、娘で」、「神の属性と神聖な行く末を受け継いでいます。」¹¹ 前世の大会議で、天の御父はわたしたちに贖いの計画を説明されました。¹² この計画は常に存在してきた教義、律法、原則に基づいていました。¹³ わたしたちは、計画を受け入れてそれに従うなら、自分の意志で御父のもとを離れ、御父の律法と戒めを守って生活するかどうか試されることを知りました。¹⁴ わたしたちはこの機会があること

に歓喜し、¹⁵ 感謝しながら計画を支持しました。なぜなら、天の御父に似た者となり、永遠の命を受け継ぐための方法が提供されたからです。

しかし、計画には危険が付き物でした。現世で神の永遠の律法を守って生活することを選ばない場合、永遠の命より低い受け継ぎを得ることになります。¹⁶ 御父はわたしたちが現世で経験を通じて学ぶ中でつまずき、罪を犯すことを御存じでしたので、悔い改める者を全て罪から贖い、従う人々の霊と心の傷を癒やすために、一人の救い主を備えられました。¹⁷

イエス・キリストは御父から愛され、選ばれ、初めから予任されていた御子でした。¹⁸ 御子は御父の計画を支持し、わたしたちの救い主になることを申し出てこう言われました。「わたしがここにいます。わたしをお遣わしてください。」¹⁹ このようにして、イエスは御父の指名を受けて、やがて現世で罪のない生涯を送り、人の罪と苦難を贖い、死の縄目を解いて復活する者となられたのです。

サタンとして知られるようになったルシフェルも前世にいました。²⁰ 彼は利己的な理由から計画を拒み、人の選択の自由を損なおうと謀り、御父に背きました。²¹ その結果、サタンと彼に従った者たちは決して肉体を得ることはありません。彼らは御父の計画に

参加する機会を失い、神聖な行く末を得られなくなりました。²² 今日神に対抗して戦っており、人類の思いと心を御父に背かせようとしています。²³

この地球は御父の計画を受け入れた人々のために設計され、創造されました。²⁴ わたしたちは地上で神の形に似せて造られた肉体を得ることになります。わたしたちはこの世で試され、証明することを求められます。永遠の命を受け継ぐために必要な経験を積むわけです。²⁵

死すべき世の生活

神はアダムとエバを創造され、夫と妻として一つに合わされ、エデンの園に置いて子供をもうけるように命じられました。²⁶ アダムとエバは選択の自由を行使して神の前から墮落し、死すべき存在となりました。²⁷ このことにより、エデン



イエス・キリストは
御父から愛され、選ばれ、
初めから予任されていた御子でした。



の園では不可能だった、子供をもうけることが可能になり、御父の計画が成就しました。²⁸ 永遠の律法によって、神聖な生殖の力は天の御父が定められた範囲の中で使用されなければなりません。そうすることで、永遠の喜びを得る機会が生じます。どのような形であれ、神が定められた範囲を超えてこの神聖な力を使えば、最終的に惨めな状態に陥ります。²⁹

全ての人々が「自分のように惨めになる」ことを望んでいるサタンは、³⁰ 御父の計画を通して得られる機会からわたしたちを引き離そうと躍起になっています。どうして天の御父はサタンがわたしたちを誘惑するままにされるのでしょうか。御父は、現世におけるわたしたちの成長と試しに反対のものが必要であることを御存じだからです。³¹ 反対のものはわたしたちが神に心を向け、神を信頼するための貴重な機会を与えてくれます。善と悪が常に目の前にあるため、わたしたちは一方を受け入れ、他方を拒むことによって心の望みを明確に表現します。³² 反対のものはサタンの

誘惑の中だけでなく、わたしたち自身の弱さ、すなわち人に生来備わっている人としての弱さの中にも存在します。³³

わたしたちが賢明に選択できるよう、神は贖いの計画を明らかにされ、戒め、³⁴ キリストの光、³⁵ そして、聖霊を伴侶とする力³⁶ を備えられました。しかし、この賜物が全てであったとしても、この墮落した世ではわたしたちは一人残らず罪を犯すため、自分の功績だけで神のもとに入ることはできません。³⁷ そのために、御父の憐れみの計画に一人の救い主が備えられているのです。

イエス・キリストは神の独り子として地上に来られ、全てのことにおいて御父の御心^{みこころ}に従われることで、定められた使命を完全に果たされました。³⁸ 御父の憐れみの計画によれば、墮落の影響は救い主の復活によって克服されます。³⁹ わたしたちがイエス・キリストの贖罪^{しよくざい}に頼るなら、罪の結果に打ち勝つことができ、弱さを強さに変えることができます。⁴⁰

アダムとエバは
選択の自由を行使して
神の前から墮落し、
死すべき存在となりました。
このことにより、
エデンの園では不可能だった、
子供をもうけることが
可能になり、
御父の計画が成就しました。



永遠の命の中心には
男性と女性による
永遠の結婚が含まれており、
これは天の両親に
似た者となるうえで
不可欠な部分となっています。

永遠の命にあずかる資格を得るためには、戒めを従順に守るほか道はありません。そのためには、イエス・キリストを信じる信仰を持ち、悔い改めて、バプテスマを受けて、聖霊の賜物を受け、そして救い主の模範に倣って終わりまで堪え忍ぶことが求められます。⁴¹ 基本的には、必要な神権の儀式を全て受けて、関連する聖約を守って終わりまで堪え忍ばなければならないということです。

来世

死んだ後、いつの日か、救い主の前に立って裁きを受けます。⁴² 神は憐れみ深い御方ですから、キリストを信じる信仰を實踐して悔い改める人々は赦され、永遠の命を含めて御父の持つ全てを受け継ぎます。⁴³ 神は正義の御方ですから、悔い改めない人は誰でも、永遠の命を受けることはありません。⁴⁴ 一人一人がそれぞれの信仰、悔い改め、思い、望み、行いに応じて報いを受けるのです。⁴⁵

日々の生活で救いの計画を実践する

この計画の壮大な全体像を理解し、その中の自分の立ち位置が見えるようになると、何か計り知れない価値のあるもの、言い換えれば、欠くことのできないものが手に入ります。それが永遠を見る観点です。永遠を見る観点は、わたしたちの毎日の選択や行動を左右します。わたしたちの思いにも心にも安定をもたらします。説得力があっても、永遠の観点から見れば不備な主張をする人々が周りにいても、わたしたちは確固として揺るぐことはありません。

十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老（1926 - 2004年）は次のように教えました。「前世と裁き、復活を含めて、救いの計画について理解せずして、この世の生涯だけでその意味を見いだそうとすることは、3幕ある演劇の第2幕しか見ないようなものです。」⁴⁶ 第2幕（現世）で最善の選択をする方法を知るには、第1幕（前世）を理解しなければならず、その選択の結果は第3幕

(来世)の動向を左右するのです。

別の言い方をすると、心からの祈りとともに救いの計画を理解することによって、人生の見方や周囲の人々の見方、そして自分自身の見方も変わるといことです。計画が理解できれば、わたしたちの霊的な視野も明瞭になり、物事の真実の姿が見えるようになります。⁴⁷ ウリムとトンミムによって預言者ジョセフ・スミスが啓示と導きを受けることができたのと同じように、⁴⁸ 計画を知ることによって、主から与えられた「道徳的な選択の自由に応じて、未来に関する教義と原則に従って行動」する方法が示されます。⁴⁹ このようにして、わたしたちの信仰は強められ、人生で進むべき道が教えられ、永遠の真理と調和した決定を下す方法が分かるのです。

わたしたちの時代に特に関連する例を幾つか挙げてみましょう。

神の計画における結婚の目的

結婚と家族が攻撃されていますが、それは、この二つが永遠の命を得るうえで、創造や墮落、イエス・キリストの贖罪と復活と同じくらい必要なものであることをサタンが知っているからです。⁵⁰ 計画の柱となっている前述の3つのことをどれ一つ打ち砕くことができなかつたため、サタンは、結婚と家族についてわたしたちが理解し、実践するのをじゃましようとしています。

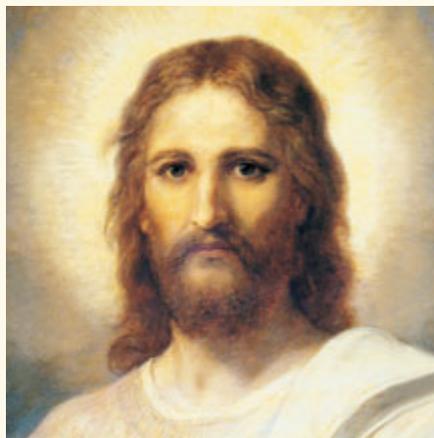
天の御父の計画を、固定した観察地点から見ると、結婚の目的がはっきりと焦点化されてきます。父母を離れ、結婚によって一体となり、⁵¹ ふえよ、地に満ちよ⁵² という戒めに従うことで、御父の計画は実現していきます。わたしたちは結婚を通して御父の霊の子供をこの世に迎え入れ、御父と一緒に、子供たちが計画に携わる手助けをします。⁵³

御父の計画により、わたしたちが永遠の命、すなわち天の両親と同じ命を受け継ぐ方法が用意されています。この計画では、「主にあっては、男なしに女はないし、女なしには男は〔ありません〕。』⁵⁴ 永遠の命の中心には男性と女性による永遠の結婚が含まれており、これは天の両親に似た者となるうえでは不可欠な部分となっています。⁵⁵

男女間の結婚

結婚関係の中で、男女は補い合って完全になります。男性と女性にそれぞれ特有で不可欠な違いがあるからこそ、それが可能となるのです。夫婦として現世の生涯を歩むとき、わたしたちはともに成長します。また、ともに従い、神の御心みこころを行うために犠牲を払い、一緒に主の王国を築くときに救い主に近づきます。永遠の結婚が神の戒めであり、主が命じられた全てのことを成し遂げるための道を備えておられるということを知っていれば、⁵⁶ わたしたちは、自分たちが交わした聖約を心をつ一つにして守っていくことで、実りある結婚生活を送れるようになることが分かるのです。

わたしたちは死すべき世で直面する問題に対応するとき、神性の力を受けますが、それは神権の儀式を通してであり、また関連する聖約を守ることを選ぶことによってもたらされるものです。⁵⁷ 神殿の儀式によって、わたしたちは高い所から力を授けられ、天の御父のもとに戻ることができるようになります。⁵⁸ 結び固めの儀式により、夫婦は神の力によって一緒に成長し、主と一つになることができます。⁵⁹ いかなるものをもってしても、このような結婚に代えて、わたしたちや、後に生まれてくる子供たちの世代のために備えられた、御父の神聖な目的を成就できるものはありません。⁶⁰



御父の憐れみの計画によれば、
墮落の影響は
救い主の復活によって克服されます。

性的嗜好と欲求

わたしたち一人一人は、死すべき人として弱さや問題を抱えながら、墮落したこの世に生まれてきます。⁶¹ 神の計画が理解できると、御父の計画に沿わない性的嗜好や欲求も含めて、あらゆる人間的な弱点は一時的なものだと考えることができます。⁶² 現世に生まれる前、天の両親から息子娘として愛されて存在していたことを知ると、自分の出自が神聖な起源にあることが理解できるようになります。わたしたちの個人としての真の出発点は、神の息子娘として存在していたということです。弱点や性癖ではないのです。⁶³

この観点で眺めると、わたしたちは主の時を謙遜に、忍耐強く待つことがもっとよくできるようになり、⁶⁴ また、信仰と



毎日、御父の計画の中から
わたしたちの知っていることを
実践するならば、
人生の意味も
一層深まることでしょう。

従順、そして終わりまで堪え忍ぶことを通して、わたしたちの性質や欲求が清められ、肉体が聖められ、主の贖罪を通して完全な者となってわたしたちは本当の意味でキリストの息子娘となるのだということを信じる事ができるのです。

永遠の観点からこの計画を眺めると、忠実な人々はいつの日か次の言葉が実現するという確信が得られます。「〔神が〕涙を全くぬぐいとして下さ〔り〕、……もはや、……痛みもない。先のが、すでに過ぎ去ったからである。」⁶⁵ この「完全な希望の輝き」⁶⁶によって、わたしたちの思いと心に安定がもたらされ、主の時を忍耐強く、忠実に待つことができるようになるのです。

忠実に堪え忍ぶ人々への約束

現在置かれている状況や環境のせいで永遠の命は得られないかもしれないと悩んでいる人がいれば、その人は、「御父が子供たちのために準備しておられる全てのうちの一部にしか

あずかれない運命にある人は誰一人としていない」ことを覚えておいたらよいでしょう。⁶⁷

忠実な人々が受けられない祝福はありません。ロレンゾ・スノー大管長はこう宣言しています。「主に忠実な生涯を送って亡くなった末日聖徒が、機会を与えられなかったために、ある事柄を成し得なかった場合、それだけの理由で来世で失うものは何もありません。言い換えれば、若い男性や若い女性が結婚する機会がないまま、死に至るまで忠実に生活をするならば、この機会を得て成長した男女が受けるであろう祝福と昇栄と栄光の全てにあずかるのです。これは疑いもなく確かなことです。」⁶⁸

計画を知って毎日実践する全ての人に与えられる約束

わたしたち一人一人は、前世で御父の計画を心から支持しました。御父がわたしたちを愛しておられることを知っていましたし、永遠の命を含めて、御父が持っておられる全てを

受け継ぐ機会を与えてくださった寛容さに畏敬の念を抱きました。前世でわたしたちが成功できたのは、御父の計画を支持したからです。現世における成功の鍵も同じです。

そこで、皆さんにお勧めします。御父の計画を支持するためにもう一度ともに立ち上がりましょう。全ての人を愛しながら実行しましょう。計画そのものが神の愛の証だからです。

毎日、御父の計画の中からわたしたちの知っていることを実践するならば、人生の意味も一層深まることでしょう。さらに深い信仰をもって困難に対応することでしょう。永遠の命にあずかろうという確固とした、明るく輝く希望をもって前進するのです。■

注

1. モルモン書 ヤコブ 6:8; アルマ 12:25-26, 30, 32; 17:16; 18:39; 29:2; 39:18; 42:11
2. アルマ 42:8, 16
3. ジェロム 1:2; アルマ 24:14; 42:5; モーセ 6:62
4. アルマ 12:32 参照。ボイド・K・バックー "The Great Plan of Happiness and Personal Revelation" (ヤングアダルトのための教会教育システム放送, 1993年11月7日) も参照
5. 教義と聖約 14:7
6. ハロルド・B・リー *The Teachings of Harold B. Lee* クライド・J・ウィリアムズ編 (1996年), 72 参照。ブルース・R・マッコンキー, Conference Report, 1970年4月, 26 も参照
7. アルマ 12:32, 強調付加。25 節も参照
8. 2 ニーフアイ 2:13-16; 教義と聖約 101:78 参照
9. ジョージ・Q・キャノン, *Gospel Truth: Two Volumes in One: Discourses and Writings of President George Q. Cannon* ジェレルド・L・ニュークイスト選 (1974年), 296
10. リチャード・G・スコット「邪悪がはびこる世界で正しい生活を送る方法」『リアホナ』2004年5月号, 102; ロバート・D・ヘイルズ *Return: Four Phases of Our Mortal Journey Home* (2010年), 33 参照
11. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129。使徒 17:29; ローマ 8:16-17; ヘブル 12:9; アブラハム 3:18-25 も参照
12. アルマ 12:30 参照。ヨブ 38:4-7; アブラハム 3:22-28 も参照
13. 2 ニーフアイ 2:13 参照。ハワード・W・ハンター "To Know God" *Ensign* 1974年11月号, 97; 『歴代大管長の教え——ヒーバー・J・グラント』30 も参照。「これらの戒めの一つ一つは、……天の御父の前に戻ってともに住むための準備と資格を得るという明確な目的のために与えられて……ます。これらの義務は、わたしたちを神のような性質を持つ者とするを目的としています。それらは、わたしたちを神々とするように、……主なる救い主、イエス・キリストと共同の相続人となるように、わたしたちを備えふさわしくすることを目的としています。」
14. 教義と聖約 136:31; アブラハム 3:24-25 参照
15. ヨブ 38:7 参照
16. 教義と聖約 88:34-36, 39-40 参照
17. イザヤ 53:3-5; 2 ニーフアイ 2:8; 9:10-11; 31:21; モーサヤ 3:17; アルマ 7:11-13
18. 1 ペテロ 1:20; モーセ 4:2 参照
19. アブラハム 3:27
20. イザヤ 14:12-16 参照
21. モーセ 4:3-4 参照。1:19 も参照
22. 黙示 12:7-9 参照
23. 教義と聖約 10:26-27 参照
24. 教義と聖約 59:18-19 参照
25. アブラハム 3:24-26 参照

26. 創世 1:26-28 参照
27. アルマ 42:2-6; モーセ 4:25, 28-31 参照
28. 2 ニーフアイ 2:23; モーセ 5:11 参照。ボイド・K・バックー「幸福の計画」『リアホナ』2015年5月号, 26-28 も参照
29. アルマ 39:3-5; 41:3-4, 10-15 参照
30. 2 ニーフアイ 2:27
31. 2 ニーフアイ 2:11 参照
32. 2 ニーフアイ 2:26-29; アルマ 34:32-35 参照
33. モルモン書ヤコブ 4:7; エテル 12:27; 教義と聖約 62:1 参照
34. アルマ 12:30-32 参照
35. モロナイ 7:16-19; 教義と聖約 88:7, 11-13 参照
36. 2 ニーフアイ 31:12-14, 18 参照
37. 1 ヨハネ 1:8 参照
38. ルカ 22:39-42; 教義と聖約 19:16-19 参照
39. 1 コリント 15:20-23; 2 ニーフアイ 9:10-13; アルマ 11:42-45
40. アルマ 42:2-15, 22-31; モロナイ 10:32-33 参照
41. 2 ニーフアイ 31:10-21; 3 ニーフアイ 27:13-22 参照
42. ヨハネ 5:22; ローマ 14:10; 黙示 20:12-13; 2 ニーフアイ 9:41; アルマ 11:41-44; 3 ニーフアイ 27:14-17, 20, 22 参照
43. アルマ 34:14-17 参照
44. モーサヤ 3:21-27; ヒラマン 14:15-19; 教義と聖約 88:21-24, 29-32 参照
45. モルモン 3:20-22 参照
46. *The Neal A. Mawell Quote Book* コリー・H・マックスウェル編 (1997年), 252
47. トーマス・S・モンソン「模範になりなさい」『リアホナ』2005年5月号, 113 参照
48. ジョセフ・スミス—歴史 1:35 参照
49. 教義と聖約 101:78
50. D・トッド・クリストファーソン「なぜ結婚、なぜ家族か」『リアホナ』2015年5月号, 52 参照
51. マタイ 19:5 参照
52. 創世 9:1 参照
53. 教義と聖約 93:36-40 参照
54. 1 コリント 11:11
55. グリン・H・オークス「背教と回復」『聖徒の道』1995年7月号, 90 参照。ダリン・H・オークス「ほかに何ものをも神としてはならない」『リアホナ』2013年11月号, 73 も参照
56. 1 ニーフアイ 3:7 参照
57. 教義と聖約 84:19-21 参照
58. 教義と聖約 109:13-26, 38 参照
59. 教義と聖約 132:1-21 参照
60. 1 ペテロ 3:7; 教義と聖約 131:1-4 参照。ジョセフ・フィールディング・スミス, *Answers to Gospel Questions*, 全5巻 (1957-1966年), 第4巻, 197 も参照。「この世と永遠にわたって神殿で結婚する人々は永遠の命の祝福を手に入れます。『永遠の命』という言葉は強調します。永遠の命とは、神の生活をする事、つまり神に似た者となることです。永遠の命とは、永遠に増し加えられることを意味します。啓示では、子孫が永遠に増えることです。神殿以外の場所での結婚は、現世にいる間しか一緒にいられません。死は引き離します。夫婦が悔い改めて神殿に参入する幸運を受け、必要な償いを行わなければ永遠に引き離されます。」
61. エテル 12:27 参照
62. エテル 12:37 参照
63. 「家族——世界への宣言」129 参照。God Loveth His Children (小冊子, 2007年), 1 も参照
64. イザヤ 40:31 参照
65. 黙示 21:4。1-3 節も参照
66. 2 ニーフアイ 31:20
67. D・トッド・クリストファーソン「なぜ結婚、なぜ家族か」52
68. 『歴代大管長の教え——ロレンゾ・スノー』116。ゴードン・B・ヒンクレー「神の娘」『聖徒の道』1992年1月号, 98 も参照。「自分に落ち度がないのに結婚していない人は日の栄えの最高の位に入れないのでしょうか。愛ある天の御父と聖なる贖い主の計画にあって、ふさわしい人から永遠に祝福が取り去られることはないかと確信しています。」

将校の食堂に案内されると、艦長が若い将校を指差しながら叫んでいました。



なぜこれが大切なのだろう

米海軍「USS ウェストバージニア号」に乗船中に電話があって、ポルトガル語を話す将校がブラジル海軍と3週間の交代乗船を行うようにという指令が来ました。その潜水艦の中でポルトガル語を話すのはわたしだけでした。

最初は、行きたくないと思いました。3か月の巡視を終えたばかりで家族に会おうのを楽しみにしていました。しかし、交代乗船の話が頭から離れませんでした。天の御父に祈ると、行くべきだという強い答えを受けたので、その割り当てを引き受けました。

この任務は、障害に満ちた困難なものとなりました。あるとき、もうやめたいという気持ちになりました。

「なぜこれが大切なのだろう」と思ったのです。しかし、続けるように聖霊の促しを受けました。

何日か遅れて、ようやくブラジルの戦艦にたどり着きました。将校の食堂に案内されると、艦長が若い将校を指差しながら叫んでいました。艦長はわたしを見ると叫ぶのをやめ、片言の英語でこう言いました。「おや、アメリカの友人が到着したようだ。ようこそ。何か飲み物でもいかがかな。」

わたしはポルトガル語で、伝道以来飲む機会がなかった、ブラジルで人気のジュースを飲みたいと答えました。艦長は、船にはあらゆる種類の酒を取りそろえていると言いましたが、わたしは、酒は飲まないと伝えました。

後で、わたしの船室を誰かがノックしました。ドアを開けると、食堂にいた若い将校が立っていました。

「アメリカ人ですよね」と彼は言いました。「酒を飲まないし、ポルトガル語を話すので。もしかして、モルモンですか。」

「はい、そうです」と、わたしは答えました。

彼はわたしに腕を回し、泣き崩れました。

メンデス少佐というこの将校は、ブラジルの海軍学校を卒業して間もない、最近末日聖徒イエス・キリスト教会に改宗したばかりの教会員でした。彼が船の任務に就くとすぐに、港に寄るときは将校たちの羽目を外した行動

に付き合うように艦長が期待していることを知りました。しかし、メンデス少佐は、入港中は常に職務を率先して行い、その仕事がないときは、寄港地の楽しみには加わりませんでした。艦長は次第にこのことを疎ましく思うようになりました。わたしが食堂に入って行ったとき、艦長はメンデス少佐と一緒に行動しないことについてどなりつけていたのでした。

「次の寄港地では将校たちと出かけるんだ」と艦長は少佐に命じました。「訪問中のアメリカ人の将校に、楽しみ方を教えてやれ。彼はそれを望むはずだ。」

何か月もの間、メンデス少佐は艦長が彼の方針を理解し受け入れてくれるよう祈り続けていたのです。わたしが到着すると、食堂での話題は、福音の話が中心になりました。わたしたちは他の将校たちと、ジョセフ・スミス、回復、知恵の言葉、純潔の律法について話し合いました。メンデス少佐に対する感情はすぐに変りました。将校たちは、おおびらに飾っていたポルノ写真を取り外し、次の寄港地ではクラブに行く代わりにレストランで一緒に食事をしました。

わたしたちの信条について艦長や将校たちと何度も話し合った3週間の船上生活の終わりを迎える頃、彼らの心は和らいでいました。「ようやく分かったよ。」艦長はわたしが去る前にメンデス少佐に言い、今後は彼の信条に反したことをするよう求めないと付け加えました。

わたしはこの経験を決して忘れないうでしょう。メンデス少佐とわたしは、天の御父はわたしたち一人一人を御存じで、わたしたちを愛し、わたしたちの個人的な生活に心を寄せてお

られることを知りました。■

ケリー・レイン
(アメリカ合衆国, ワシントン州)

スパッフォード 姉妹がわたしに 語りかけていました

ある晩遅くにオンラインのレストランゲームをしていると、夫がやって来て、もう寝ると言いました。

「わたしもすぐ行くわ」とわたしが言うと、

「寝室に来るまでは信じられないね」と夫は言いました。

わたしが遊んでいたゲームは、バーチャル(仮想)のレストランで作ったバーチャルの料理をバーチャルの客に出す、というものでした。コンピューターの画面を見たわたしは、「あら、料理が15分で出来上がるわ」とつぶやきました。

時間をつぶすために、わたしは『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』を手に取りました。扶助協会でもらってからずっと机に置きっぱなしになっていたものです。わたしは前書きを読み始めました。3ページ目に、第9代扶助協会会長のベル・S・スパッフォード姉妹の次の言葉が載っていました。

「今日の平均的な女性は、自分の関心がどこにあるかを吟味し、行っている活動を評価し、そのうえで生活を簡素化するように努力し、最も大切なものを第一とし、最もすばらしく最も永続的な報いがあることを大切にしたり、それほど価値のない活動は避ける

ようにするべきです。わたしはそう信じています。」(2011年, xiii)

これまで読んだものの中で、聖文以外でこれほど深い感銘を受けた言葉は他にありませんでした。30年以上も前に亡くなったこの女性がわたしに語りかけてきたのです。彼女の言葉は、彼女がそれを語った当時よりも今日さらに重要になっているように思えます。

わたしは即座に、オンラインゲームはもう二度としないようにしようと決意しました。わたしはコンピューターの電源を切ってベッドに向かい、夫に自分の考えを伝えました。翌日、わたしはコンピューターに電源を入れることさえしませんでした。その代わりに、毎日どれほど多くの時間を無駄にし、ゲームに費やしてきたかを計算してみました。

1日3時間に365(1年間の日数)を掛けて24(1日の時間数)で割ってみると、驚いたことに、年間45.62日も無駄にしていました。その貴重な時間と日々はもう永遠に戻って来ません。聖文を読んだり、夫や子供と時間を過ごしたり、人に奉仕をしたり、召しを尊んで大いなるものとして時間を経過することもできたのです。

中央幹部は総大会でこのことについて度々語っています。それでもわたしには一度もピンと来ませんでした。自分には関係がないと思っていたのです。

中央幹部とベル・S・スパッフォード姉妹がわたしに語りかけているのだと分かるように、聖霊が助けてくださったことに感謝しています。■

サンディ・ホーソン
(アメリカ合衆国, オハイオ州)

なぜそこにいるのかは分かりませんでした

母とわたしがちょうど夜の祈りを終えてからのことでした。抱き合って「愛しているわ」と言い、わたしは寝室に向かいました。ドアハンドルに手を伸ばすと、翌日母が死んでしまうという、心が締め付けられるような強い不安が湧き起こってきました。

頭と心は必死にその考えを打ち消そうとしました。お母さんに何かあるわけがないわ。きっと大丈夫よ。

部屋に入ると、ひざまずいて祈り、母について受けた不安な思いが現実のこととなるなんてあり得ないと、天の御父に伝えました。その思いを取り除いてくださいとお願いしましたが、消えませんでした。わたしは両親の部屋に戻り、寝る前にもう一度抱きしめてキスをしてもらいたいと母に言いました。もう一度「愛しているわ」と互いに言って、わたしは部屋に戻りました。その夜はなかなか寝つけませんでした。

翌朝起きると、わたしは不安でした。ありがたいことに、母は元気で楽しそうにしていました。でも心の底で、何かがおかしいという不安がつきまといました。その日の断食証会^{あかし}で、母は立ち上がってすばらしい証を述べました。

聖餐会^{せいさん}の後、母は初等協会のレッスンを教えに行き、わたしは日曜学校に行きました。するとまた、席を立てて日曜学校から出るようにというはつきりとした思いを感じました。人の注意を引きたくはありませんでしたが、席を立ててドアの外に出るように何か促しました。数分後、わたしは初等協会のクラスで母が教えるのを座って聞いていました。なぜそこにいるのかは分かりませんでした、そこにいるべきだと思っていました。

その日の午後、兄の家で、母はわたしの目を最後にじっと見ながら倒れ、肺塞栓症^{そくせんしゅう}で亡くなりました。天の御父は御自分の理由と憐れみにより、聖霊を送られてわたしを備えてくださったのです。この促しのおかげで、その静かな細い声を無視していたならば過ごすことのできなかった特別な時間を母と過ごすことができました。

母の死に際して起こった出来事を経験するまで、それほど天の御父の愛を強く感じたことはありませんでした。わたしたちを深く愛するがゆえに、聖霊^{たまもの}の特別な賜物を与えてくださる天の御父がおられることは、何と祝福されていることでしょうか。■

アンバー・チェニー
(アメリカ合衆国、アラバマ州)

わわたしは
両親の部屋に戻り、
寝る前にもう一度抱きしめて
キスをしてもらいたいと
母に言いました。



わたしはすぐに
わ 船の事務所に電話して、
出航を2日待ってくれないかと頼むと、
無理だと言われました。



ロトゥマに行けるよう祈りました

『ウェスターランド号』は昨日
出港したのよ。」フィジーの
ナディ国際空港でわたしたちを出迎え
た義理の姉がこう言いました。

それを聞いてわたしは悲しくなり、
がっかりしました。わたしは、ロトゥマ
島の兄に会いに行くためにウェスター
ランド号を利用しようと思っていたの
です。ロトゥマは、フィジー諸島最大
のビティ・レブ島から約375マイル
(600キロ)北西に位置する島です。
この船を逃してしまうと、何日も、ある
いは何週間も次の船を待たなければ
なりません。

1年前にロトゥマに行って、兄が祖
母の家を改修するのをわたしも手伝っ
たのですが、作業のことで兄と意見が
合わず、わたしだけ帰って来てしま
いました。直接兄にあって、自分が悪
かったと伝えようと思っていました。

妻のアカタと一緒にオーストラリア
からフィジーに飛行機で向かう1週間
前、到着予定の前日に『ウェスター
ランド号』がロトゥマに出港するとめ
いが教えてくれました。わたしはすぐに

船の事務所に電話をして、出港を2日
待ってくれないかと頼みました。

「いいえ、ご希望には添えません」
というのが答えでした。「ロトゥマ島
議会が歓迎会の準備をしているので、
予定どおりに出港しないとイケないの
です。」

ある考えが浮かび、わたしは断食し
て祈ることにしました。

「愛する天のお父様、わたしはどう
してもロトゥマ行きの船に乗りたいと
思っています。船会社は、船の出発を
2、3日遅らせることはできませんが、
天のお父様はその力をお持ちである
ことを知っています。どうぞ、船の
どこかのボルトを1本外して船を止
め、わたしが乗船できるようにしてく
ださい。ロトゥマに行って兄と仲直り
したいのです。」

既に出港したという残念な知らせを
聞いて、わたしたちは島の反対側の港
に向かいました。するとそこで、ボート
にエンジントラブルが起きて、まだ
出港していないことが分かりました。

天の御父はわたしの祈りにこたえて
くださったのです。後で分かったこと
は、深刻なオイル漏れを修復するため
に、ボルト1本だけでなくエンジン
そのものに修復が必要だということ
でした。

わたしは、やっと1週間後に出港し
た船に乗りました。ロトゥマ島に到着
すると、わたしは兄と抱き合い、謝り、
仲直りすることができました。まさに
喜びの日でした。

わたしは永遠にこの霊的な経験と、
回復されたイエス・キリストの福音に
感謝することでしょう。この経験は、
たとえロトゥマのような小さな島の小
さな村であっても、奇跡は今日もまだ
起こるといふことの証であり、天の
御父は生きておられ、心からの祈りに
こたえてくださること、祈りと断食は
密接に関係していること、福音は真実
であることを証するものでした。■

ジョン・K・ムラー
(オーストラリア、ニュー・サウスウェールズ)
(筆者は亡くなっています)



ランドール・L・リッド

2013年から2015年まで
中央若い男性会長会
第二顧問として奉仕

誠意をもって生きる

わたしはセミナーに通っていた若い頃に、誠意をもって行うことの大切さを学びました。教師からモルモン書を読むようチャレンジされたときの事です。教師はわたしたちの進捗状況を記録するために表を作りました。縦に生徒の名前、一番上の行にはモルモン書の各書の書名が並んでいました。生徒が各書を読み終えるごとに、教師は名前の横に星をつけました。

最初、わたしはあまり読む努力をしていなかったため、程なくして、自分がどんどん遅れていっていることに気づきました。体裁が悪いと思いましたし、もともと負けず嫌いな性分でもあったため、わたしは読み始めました。星をもらうたびに良い気持ちがしました。星が増えれば増えるほど読みたくなり、授業の合間であろうと放課後であろうと、暇さえあれば読みました。

努力した結果クラスで一番に読み終えたと言えれば素晴らしい話になったのですが、そうはなりません。それに、一番になるよりも良いこと、つまり、モルモン書の証を得た

と言えれば上出来だったでしょう。しかし、そういうことにもなりません。証は得られなかったのです。わたしが得たのは星でした。なぜなら、それこそが、わたしがモルモン書を読む目的だったからです。モロナイの言葉を借りれば、わたしが「誠意」をもって行ったのがそれだったのです。

モロナイは、モルモン書が真実かどうか知る方法を明確に述べています。「この記録を受けるとき、これが真実かどうかキリストの名によって永遠の父なる神に問うように、あなたがたに勧めたい。もしキリストを信じながら、誠心誠意問うならば、神はこれが真実であることを、聖霊の力によってあなたがたに明らかにしてくださる。」(モロナイ 10 : 4, 強調付加)

正しい理由

振り返ってみると、主はわたしをまったく公平に扱っておられたことが分かります。自分が求めていたもの以外のものを見つけることなど、どうして期待できたでしょうか。誠意をもって行うとは、正しいことを正しい動機

誠意をもって
行うとは、
正しいことを
正しい目的で
行うことです。

から行うことです。わたしは正しい本を誤った目的で読んでいたのです。

わたしがモルモン書を誠意をもって読んだのは、それから何年もたってからでした。モルモン書は、イエス・キリストの生涯と使命を証するという神聖な目的を果たしています。誠意をもって読んだので、それが分かるようになりました。

こうしてわたしは、誠意をもって行うこととモルモン書について、ある



STOCK/THINKSTOCK

教訓を学んだのですが、それは生活のあらゆる面でわたしたち全員に当てはまります。わたしたちはあまりに多くの場合、何年もかかって築かれてきたやり方や習慣に受動的に従っています。それをしたらどうなるかをよく考えることなく、物事を行っているのです。誠意をもって生きると、何かに焦点を当てた、目的意識のある生活をするようになり、生き方がまったく違ってきます。誠意をもって生きるとは、物事の理由を理解することです。つまり、自分の行動の裏にある動機に気づくということなのです。ソクラテスは「吟味されざる生に、生きる価値なし」¹と言いました。自分がどのように時間を使っているかを考え、常に「なぜか」を自問してください。そうすることにより、未来を見据える力を高めることができます。将来を見据えて「なぜこれをするのか」を考える方が、過去を振り返って「なんであんなことをしてしまったのだろう」と思うよりもはるかに良いのです。

主は、わたしたちに何を行うよう望んでおられるのでしょうか

わたしは若い頃、伝道に出ないと決めていました。大学で1年、陸軍で1年過ごしたわたしは、エックス線技師として地元の病院で良い仕事に就いていました。万事はうまく行っているように思えましたし、伝道に出る必要などないと思っていました。

ある日、その病院の外科医であるジェームズ・ピングリー医師に昼食に誘われました。話しているうちに、ピングリー医師は伝道に出る計画がわたしにないことを知り、その理由を聞いてきました。わたしは、伝道に出



誠意をもって生きるとは、物事の理由を理解することです。つまり、自分の行動の裏にある動機に気づくということなのです。ソクラテスは「吟味されざる生に、生きる価値なし」と言いました。

るには年を取っているので多分もう遅すぎると思うと話しました。彼は、それは十分な理由ではない、自分は医大を卒業してから伝道に出た、と言いました。そして、伝道の大切さについて証したのです。

その証を聞いて、わたしは大きな衝撃を受けました。そこでわたしは、それまでしたことの無い方法で祈りました。つまり、真心から祈ったのです。伝道に出ない理由は幾らでも思いつきました。わたしは引っ込み思案でしたし、好きな仕事もありました。奨学金を受けられる見通しがあり、伝道に出た後ではそれを受けることはできませんでした。それに何より、陸軍にいる間わたしを待っていてくれたガールフレンドがいました。さらに2年は待ってくれないでしょう。どれも正当な理由であって、伝道に出ないという判断は正しいという確信を得るために、わたしは祈りました。

わたしは正しいか正しくないかという答えが欲しかったのです。しかし、困ったことに、そのような単純な答えを得ることはできませんでした。そして、こんな思いが湧き上がってきました。「主はわたしに何を望んでおられるのだろうか。」わたしは、主が伝道に出るよう望んでおられることを認めざるを得ませんでした。これは、わたしの人生を決定的に変える瞬間になりました。自分がしたいことをするか、主の御心^{みこころ}を行うか。これは誰もが、繰り返し自分に問うてみるべき問題です。

感謝の思いをもって、わたしは伝道に出ることを選び、メキシコ北伝道部で働く割り当てを受けました。

永遠に続く結果

35年後、メキシコと一緒にいかなかった息子が誘われました。わたしたちはできれば、わたしが教えた人たちに会いたいと思いました。最初の任

地だった小さな町の^{せいさん}聖餐会に出席しましたが、知っている人は誰もいませんでした。集会が終わると、わたしは自分が遠い昔に教えた人たちのリストを会員の一人に見せ、誰か知っている人はいないかと尋ねました。一緒にリストを見ましたが、知らない名前ばかりだと言います。ところが、最後の名前「レオノル・ロペス・デ・エンリケス」まで来たときのことです。

「ああ、そうだ」と彼は言いました。「この家族は別のワードにいますが、この建物を使っていますよ。聖餐会は次の時間です。」

間もなく、レオノルが建物に入ってきました。彼女は70代半ばになっていましたが、わたしたちは直ちに互いを認め、涙を流しながら長い抱擁を交わしました。

彼女はこう言いました。「わたしたちは35年間、あなたがいつかここに戻って来るよう祈ってきたのよ。わたしたち家族に福音を伝えてくれたことにお礼を言いたくて。」

わたしは建物に入ってきた彼女の家族一人一人と抱き合い、涙を流しました。程なくして、驚くべきことが分かりました。そのワードのビショップはレオノルの息子の一人であり、指揮者は孫娘、男性の伴奏者もレオノルの孫でした。さらにアロン神権を持つ孫が何人かいて、娘の一人はステーキ会長会顧問と、別の娘は近隣のワードのビショップと、それぞれ結婚していたのです。レオノルの子供のほとんどは伝道経験があり、今では孫も伝道に出ていました。

レオノルはわたしよりもはるかにすばらしい宣教師だったことが分かりました。今子供たちは、レオノルが

たゆまず努力して自分たちに福音を教えてくれたことを思い出して、感謝しています。レオノルは小さな決断の積み重ねが、やがて豊かで、義にかなった、幸せな人生に至ることを子供たちに教え、子供たちもそれを他の人たちに教えてきました。このすばらしい家族のおかげで、500人以上の人が教会に加わったのです。

しかも、これは全て、元をたどれば、昼食時のたわいない会話から始まったことでした。わたしはよく考えるのですが、ピングリー医師の関心がおもに自分の仕事や、その他この世的な事柄にあったとしたら、そもそもなぜ伝道に出ないのかとわたしに尋ねたりなどしなかったのではないのでしょうか。しかし、ピングリー医師はこの世的なことではなく、主の御業を進めることを話題にしました。そして、彼がまいた種は育ち、実をつけ、飛躍的に増え続けています（マルコ4:20参照）。主の御心を行うというたった一つの決断が永遠の行く末を決める結果を生むことを、わたしは自分の伝道から学びました。

永遠の目的を覚える

わたしはしばしば自分の人生を振り返って、伝道に出るといふ決断を下すのがなぜあんなに難しかったのだろうかと考えてきました。この決断が難しかったのは、わたしが他のことに気をとられ、自分の永遠の目的、つまり、人が地上にいる真の目的に目を向けていなかったからです。

わたしの望みと意志は、主の御心と一致していませんでした。一致していれば、もっと簡単に決断できたことでしょう。では、なぜ一致していなかつ

たのでしょうか。わたしは日曜日には教会に行き、聖餐を取っていました。しかし、その意味を深く考えたりはしませんでした。祈ってもいましたが、たいていは形式的なものでした。聖文も読んでいましたが、何となくたまに読むだけでした。

皆さんにお勧めします。大切なことに的を絞り目的をもって生活をしてください。これまで継続してそんな生き方をしたことがなかった人もです。自分が既にしてしまったことや、行わなかったことを考えて、がっかりしないでください。過去は、救い主に拭い去っていただきます。主の言葉を覚えておいてください。「悔い改めて真心から赦しを求めた者は、その度に赦された。」（モロナイ6:8、強調付加）

今から始めましょう。目的意識をもって生活しましょう。自分はなぜそれをするのか、それをするとうなるのかを理解したうえで物事を行うのです。そうするならば、自分が行うあらゆる物事の裏にある最も大切な理由は、皆さんが主を愛しており、主が完全な愛をもって自分を愛しておられるからだということが、分かるようになるでしょう。完全になろうと努力し、主の御心を理解してそれを行おうとすることに、皆さんが喜びを見いだせますように。■

2015年1月11日、ブリガム・ヤング大学アイダホ校で行われたヤングアダルト対象のワールドワイド・デイポーショナル「目的をもって生活する——『真心から』行うことの大切さ」より。全文は<https://www.lds.org/broadcasts/archive/worldwide-devotionals/2015/01?lang=jpn>からご覧いただけます。

注

1. ソクラテスの言葉。プラトン Apology (2001)、55より引用。

信仰, 奉仕, そして1個のパン

ニッサンカ(ニッシ)・ムス・ムダリゲ

わたしは学校に入るため、2007年にスリランカからアルメニアに引っ越し、宣教師と出会い、その次の年にバプテスマを受けました。バプテスマの後、ぜひとも専任宣教師として奉仕したいと思いました。25歳を超えていたので伝道に出ることはできませんでしたが、伝道部会長はミニ伝道で奉仕するように召してくれました。わたしの責任には、他の長老たちとともに働いて福音を宣べ伝えることが含まれていました。わたしは伝道が大好きでした。

勇気の試し

一方で、お金はあまりありませんでした。その後、父が事業に失敗し、仕送りしてもらえなくなりました。わたしには、ほんの数日分の食べ物しかありませんでした。大学は住まいの近くにありましたが、伝道本部に行くにはバスで30分掛かりました。往復の運賃は200ドラムでした。アメリカドルで約50セントです。

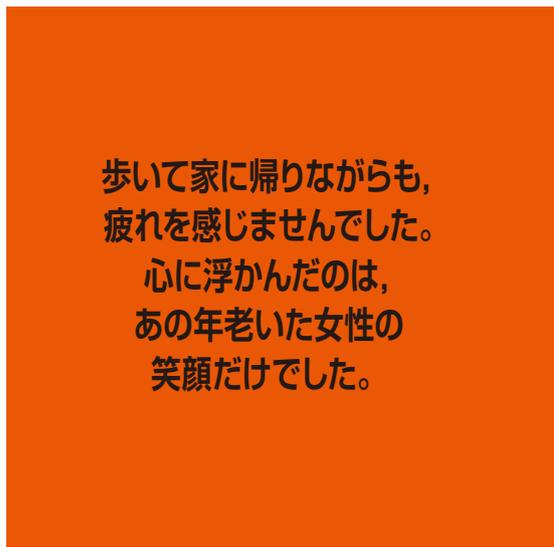
そのような状態でも、伝道の奉仕を尊んで大いなるものになりたいと思っていました。すると一人の長老から電話

がかかってきて、一緒に数人の会員を訪問するために中央支部の建物で待ち合わせできないかと聞かれました。中央支部まではバスで40分以上掛かります。そのときお金はパンを1個買えるほどしかありませんでしたが、わたしは「はい」と答えました。わたしは中央支部の建物まで歩きました。暑い夏の日でしたから、途中で休んだり、水を飲んだりしなければなりませんでした。2時間以上掛かって、やっと着きました。2時間歩いて帰る途中で、最後の硬貨を使ってパンを買いました。

さらに大きな試し

家に帰るとすぐに、同じ長老から電話があり、こう言われました。「ニッシ、また電話して悪いのですが、一人の会員が病気なんです。その姉妹を祝福する間、一緒に来て同僚になってくれませんか。」暑い中を4時間も歩いたのもうくたくたです、と言いたかったのですが、わたしの心がそれを許しませんでした。信仰が強さと勇気を与えてくれたので、わたしは、行きますと言いました。

ちょうどそのときルームメートが入って来たので、伝道本部に行くお金を貸



歩いて家に帰りながらも、
疲れを感じませんでした。
心に浮かんだのは、
あの年老いた女性の
笑顔だけでした。

してくれないかと頼みました。彼は、月末まで食べ物を買うお金しか持っていないので貸せないと言いました。

突然、テーブルの上にある買ったばかりの焼きたてパンが目にとまりました。わたしが持っていた食べ物はそれだけでした。わたしはパンを手にとって言いました。「買ったばかりのパンだけどこをあげるから、100ドラムくれませんか。」彼は笑って、いいよと言ってくれました。わたしはそのお金を持ってバスに乗り、伝道本部に行きました。

わたしたちはその教会員を訪問しま



した。ベッドから起き上がることでできない年老いた女性でした。目を開けてわたしたちを見ることはほとんどできませんでしたが、わたしにほほえみかけました。特にわたしに向かって話し掛け、これまでの人生の思い出をいろいろと話してくれました。わたしたちが家を訪れたことがとてもうれしそうでした。長老とわたしは一緒に祝福を受けました。彼女がもう一度わたしたちにほほえんだとき、わたしは彼女の顔に光を見ました。娘さんは、わたしたちが訪問するまで何か月も母親の笑顔を見ていなかったと言いました。

わたしは家に帰るために再び2時間歩きましたが、今度は疲れを感じませんでした。心に浮かんだのは、あの年老いた女性の笑顔と、交わした会話だけでした。天の御父はわたしに彼女を訪問することを望んでおられたと感じました。わたしたちが行くこと

が、きっと彼女が人生最後の何日かでもより幸せな気持ちで過ごすために必要だったのでしょう。わたしはこの訪問に同行する機会があったことに深く感謝し、この女性を祝福してくださいように天の御父にお願いしました。さらに、わたしが経済的に困難な状態にある間、日々の食物を祝福してくださいように天の御父にお願いしました。

天からの祝福

神はわたしをお見捨てになりませんでした。その月に、友人が食べ物を分けてくれました。わたしのポケットにはまったくお金はありませんでしたが、空腹のまま寝たことは決してありませんでした。毎日伝道本部まで歩いて行きましたが、それでも決して疲れを感じることはありませんでした。犠牲がわたしを幸福にしてくれました。

その月、昼食と夕食の招待をたくさん受けました。ある日ルームメートもわたしもお金がなく、朝食に小さなパンが1個あっただけのときがありました。その夜、わたしたちはとてもおなかがすいていました。友人からお金を借りようと通りを歩いていたとき、1台の車が止まり、中にアルメニア人が二人乗っていました。その人たちから、出身はどこかと尋ねられました。スリランカから来ましたと答えると、彼らはわたしたちを自宅の夕食に招いてくれました。彼らはスリランカのことなら何でも聞くのが大好きで、わたしたちはすばらしい夕食を頂きました。

わたしは天の御父を愛しており、天の御父が絶えず下さる全ての祝福を大切にしています。天の御父はわたしを助けるためにすぐそばにいてくださり、わたしは毎日御父の愛ある心遣いを感じています。■

筆者はアルメニア在住です。



十二使徒定員会
ダリン・H・
オックス長老

ポルノグラフィの わなから抜け出す

わたしたちは皆、性的な内容を含むメディアに適切に対応する方法を
学ばなければなりません。

10年前の総大会で、わたしはポルノグラフィについて話しました。ポルノグラフィが霊に及ぼす深刻な影響について警告した他の指導者たちの言葉に意見を付け加えたのです。わたしが「不道德な性的関係を助長する文学」と呼ぶものによって、あまりにも多くの成人男性や少年が傷ついている、とわたしは警告しました。¹ どのようなものであっても、ポルノグラフィを見ることは悪です。霊性を破壊し、神権の力を行使する能力を弱め、大切な人間関係を損ないます。あれから10年以上たった今、多くの人が預言者の警告を聞いてそれに従い、ポルノグラフィを避けて清さを保ち、その汚れに染まらずにいます。このことにわたしは感謝しています。また、多くの人が預言者の勧めに応じてポルノグラフィ依存から立ち直り、傷ついた心と人間関係を修復して弟子としての道を進んでいることにも、感謝しています。しかし、多くの教会員が依然としてポルノグラフィの犠牲になっていること、特に教会の若い男性だけでなく、若い女性の中にもそのような人が増えていることを、これまで以上に心配しています。

ポルノグラフィの問題が深刻化していく原因はおもに、性的な内容を含む言葉や画像、性的な事柄を連想させる言葉や画像が現在、社会の至る所で見られることにあります。ポルノグラフィは映画やテレビ、ソーシャルメディア、携帯メール、携帯アプリ、広告、書籍、音楽、毎日の会話に出てきます。その結果、わたしたちは皆、いや応なしに性的なメッセージに日常的にさらされているのです。



謙遜になって
主に頼るようになると、
人は幾つかの真理を
受け入れるよう
になります。
そのような真理が、
よく理解できる
ようになると
それが力となり、
羞恥心しゅうちを
拭い去ってくれます。

I. 関わりのレベル

増大するこの悪に対抗する手段として、ここでポルノグラフィーとの関わりの深さを幾つかのレベルに分け、対処法をレベル別に提案したいと思います。

以前、わたしたちは、ポルノグラフィーとの接触を避けることや、依存症から立ち直るよう個人を助けることを中心に、ポルノグラフィーに関する勧告を与えてきました。それで十分な状況でした。そのような取り組み方が大切なのは今も変わりませんが、これまで経験してきた事柄と現在の状況を考慮すると、ポルノグラフィーを避ければよいという段階から依存に陥っている段階に至るまでの各段階に応じた助言が必要なが明らかになりました。ポルノグラフィーとの関わりに応じて以下の4つのレベルに焦点を合わせるとよいでしょう。(1) 偶然見る, (2) 不定期に見る, (3) かなり見る, (4) 見ないではいられない(依存症)です。

1. **偶然見る。**偶然ポルノグラフィーを見る羽目になったという経験のない人は、ほとんどいないと思います。目をそらして、それ以上見ようとしなければ、それは罪ではありません。これは過失のようなもので、必要なのは悔い改めではなく、修正です。²
2. **不定期に見る。**ポルノグラフィーを不定期に見ているケースでは、それが時たまのことであれ回を重ねることであれ、常に自分の意志で見ているのですから、それこそが、この行為が悪であるゆえんです。

ポルノグラフィーは強い性的感情をあり、増幅させます。創造主は御自身の賢明な目的のために、わたしたちにこのような感情をお与えになりました。しかし同時に、その感情の表現を婚姻関係にある男女に限定するよう命じる戒めも授けられました。ポルノグラフィーは適切な性的表現の品位を下げ、性的な感情を結婚という囲いの外で表現するよう仕向けます。ポルノグラフィーを見る人は、生命を創造することも破壊することもできる大いなる力を、もてあそんでいるのです。

そのようなことをしてはいけません。

意図的にポルノグラフィーを見るのが危険なのは、どれだけ軽い気持ちで見たとしても、頻度がそれほど高くなかったとしても、見る頻度は必ず高くなりますし、そうなるとう必然的に性的なことで頭がいっぱいになり、性的な衝動に駆られるようになるからです。性的な画像を見ると、性的な感情を誘発する化学物質が脳内に生成され、それが性行動への関心を高めることが、複数の科学者の研究で明らかになっています。³ どのような形であれ、どのような頻度であれ、不道德な性行動を取ると、羞恥心が生まれます。そしてそれは、次第にその人の中で常態化していくのです。

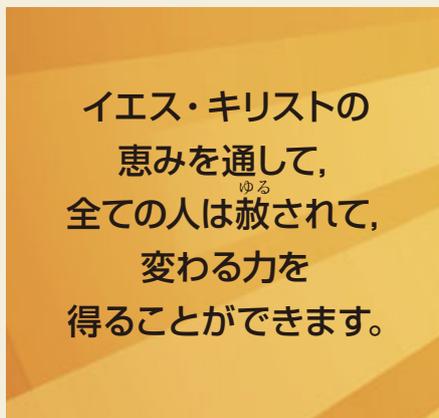
3. **かなり見る。**自分から進んでポルノグラフィーを繰り返し見るようになると、それが習慣になる、つまり、「ある行動様式が定期的に繰り返されることによって、ほぼ無意識に行われるようになる」可能性があります。⁴ 人はポルノグラフィーを習慣的に見るようになると、さらに強い刺激がなければ満足感を得られなくなります。
4. **見ないではいられない(依存症)。**

「人生における他のほぼ全てに優先する抑え難い強い衝動」に駆られるほどの「依存状態」(薬物やアルコールの摂取、ギャンブル癖などに適用される医学用語)が形成された場合、その人の行動は依存行動だと判断されます。⁵

II. これらの各レベルを理解することの重要性

このようなレベルの違いが理解できると、意図的にポルノグラフィーを見る人が全員、依存症だとは限らないことも分かるはずですが。実際のところ、ポルノグラフィーで苦しむ若い男性や女性のほとんどは依存症ではありません。この違いを理解することは、助けようとする両親、伴侶、指導者だけでなく、問題を抱えている本人にとっても非常に大切なことです。その理由を挙げましょう。

まず、偶然に見たことから不定期に見るようになり、かなり



見るようになって、見ないではいられない状態（依存症）になってしまうまで、関わりのレベルが深ければ深いほど、立ち直りは難しくなります。もし自分の行動が誤って依存症に分類されたとしたら、その人は自分にはもう選択の自由がなく、問題を克服することもできないと思うかもしれません。そうなると、立ち直ろう、悔い改めようという決心が揺らいでしまう可能性があります。一方、問題の深刻さをはっきりと理解して、恐れていたほど深刻な状況でも極端な状態でもないかもしれないと思えば、希望を持って選択の自由を行使し、見るのをやめて悔い改める力が湧いてくるでしょう。

次に、他の罪深い行いと同様、聖霊は意図的にポルノグラフィーを使用する人から離れて行ってしまわれます。これを経験した人の中には、それをきっかけに悔い改める人もいます。しかし、中には当惑し、偽善によって自分の罪を隠そうとする人もいます。そのような人はまた、羞恥心を抱き始め、その結果、自己嫌悪に陥ることもあります。そうなると、こんなことをしたのだから、または、こんなことがやめられないのだから自分は悪い人間であって救い主の恵みを受けるにふさわしくない、悔い改めることなどできないと考えるようになるかもしれません。このような考えは、サタンがささやく最大のうそです。真実ではありません。わたし

たちは救い主も、救い主の贖罪しよくざいの力も及ばないほど悪い人間になることなどないのです。

最後に、ポルノグラフィーをかなりの程度習慣的に見ている場合であっても、依存症のレベルに達していると判断しないことが大切です。なぜならば、そのような状態は正確には依存症ではなく、依存症と判断してしまうと、かえって必要な悔い改めと立ち直りに必要な条件を把握できなくなるからです。どのレベルにあるかがよく理解できれば、立ち直るために何をすべきかもよく分かるようになるでしょう。

Ⅲ. ポルノグラフィーから抜け出す

それでは、どうしたらポルノグラフィーのわなから抜け出して立ち直ることができるか考えてみましょう。それはポルノグラフィーを見る性癖を克服しようと必死に努力している当人だけでなく、それを助ける親や指導者にとっても助けになります。このテーマについて親や指導者と一緒に話し合う方が、ポルノグラフィーを避けることも、それから立ち直ることも容易になります。⁶

意図的にポルノグラフィーを見る人は、どのレベルであっても立ち直って清くなり、悔い改めなければなりません。従うべき基本原則は同じです。つまり、謙遜けんそんになって弟子の



 これらの真理に基づいて
 行動するには、
 主イエス・キリストの弟子として生き、
 誘惑に遭っても
 それに耐えられるように
 自らを清め強くする事柄を行う
 という決意を新たにする必要があります。

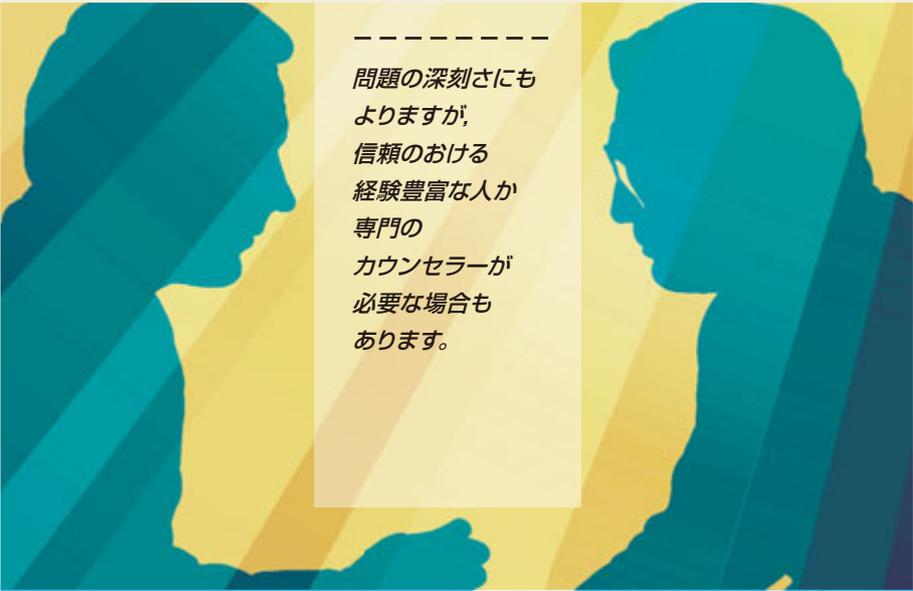
務めを果たし、変わるための個人的な計画を達成する決意を固め、報告責任を果たして支援を受け、信仰をもって堪え忍ぶのです。

A. 謙遜さ

ポルノグラフィーとそれに関連する行動を本当の意味で克服するには、謙遜さを身につけなければなりません（エテル 12：27 参照）。謙遜になって主に頼るようになると、人は幾つかの真理を受け入れるようになります。そのような真理がよく理解できるようになるとそれが力となり、羞恥心を拭い去ってくれます。以下のような真理です。

- わたしたちは皆、愛の深い天の御父の子供である。
- 救い主イエス・キリストは、わたしたち一人一人を愛し、一人一人を御存じである。
- 救い主の贖罪は全ての神の子供たちに適用される。
- イエス・キリストの恵みによって、全ての人は赦され、変わる力を得ることができる。
- わたしたち一人一人には貴重な選択の自由が与えられており、それによって贖罪の力と強さに頼ることができる。
- ポルノグラフィーで苦しんでいる人は、同じ闘いに打ち勝った人々がいるということに希望を見いだすことができる。
- ポルノグラフィーは悪だが、それに関わったからといって、その人が悪人だというわけではない。
- 誰でもポルノグラフィーのわなから抜け出して完全に立ち直ることができる。しかし、それは贖罪の力に頼ることによってのみ可能である。
- ポルノグラフィーを真に悔い改めるには、単にそれを見るのをやめるだけでは不十分である。その悔い改めには、キリストの贖罪による心の変化が伴わなければならない。

このような真理を受け入れると、人はそれに基づいた行動をするための霊的な備えができるようになります。そうすると、悔い改めて立ち直るために必要な変化を遂げられるよう、主から助けを受けることができるようになるのです。



問題の深刻さにも
よりませんが、
信頼のおける
経験豊富な人が
専門の
カウンセラーが
必要な場合も
あります。

B. 弟子の務め

上記の真理に基づいて行動するには、主イエス・キリストの弟子として生き、誘惑に遭ってもそれに耐えられるように自らを清め強くする事柄を行うという決意を新たにする必要があります。個人的に次のような、信仰を深める行いをするよう決意しなければなりません。つまり、毎日有意義な祈りと聖文研究を行い、教会の集会に出席し、断食し、（ビショップの承認が得られれば）^{せいさん}聖餐を受けて神殿に参入するという決意をするのです。

C. 個人の計画を達成する決意

イエス・キリストの謙遜な弟子になると、ポルノグラフィーの誘惑のきっかけとなる心の深層に潜む感情や社会的状況、物理的環境などを察知できる感受性を身につけることができます。そのようなきっかけを分析し、そんなときに助けになる個人的な防御計画を作りましょう。

- きっかけとなる要因が発生したり性的欲求を感じたりしたときに、それを認識する。
- 誘惑から身を引くことのできる具体的な行動を決める。
- 思いと精力を主に向ける。
- 義にかなった生活をするという個人的な決意を強くするために日常的に行う事柄を、具体的にまとめる。

個人の計画を作成する際には、教会が提供するすばらしいリソースを活用すべきです。例えば、教会のウェブサイトである <http://overcomingpornography.org/?lang=jpn> には、個人だけでなく、彼らを支援する家族や神権指導者を対象にしたコンテンツもあります。その他、どのような依存

行動であっても、教会の依存症立ち直りプログラムが、依存症で苦しむ全ての会員のために用意されており、これは家族にも役立ちます。

D. 報告責任を果たして支援を受ける

自分には救い主が必要だということを知っているイエス・キリストの謙遜な弟子であれば、ビショップの助けも求めるはずですが、ビショップは彼らの神権指導者として主によって召され、彼らの悔い改めに必要な鍵を持っています。当事者の同意があり、ビショップがそのように靈感を受ければ、ビショップは彼らを助ける者として別の人も召すことができます。状況がどうであれ、ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008 年）の次の勧告が当てはまります。

「自分を縛りつけている中毒を取り除いてくださるように、心の奥底から、主に願い求めてください。また、勇気を奮い、ビショップの愛に満ちた導き、必要ならば、思いやりのある専門家の助言を求めてください。」⁷

問題の深刻さにもよりますが、信頼のおける経験豊富な人か専門のカウンセラーが必要な場合もあるでしょう。時間を問わずに頼ることができ、弱音を吐きたくなくなったときに力づけてくれる人、自分で立てた計画に従うよう励ましてくれるような人です。

E. 信仰をもって堪え忍ぶ

悔い改め、ポルノグラフィーへの欲求を克服する祝福にあずかった人も、続けて用心しなければなりません。なぜなら、サタンは彼らの人間的な弱さに付け込むために虎視眈々と狙っているからです。どんなに避ける努力をしても、偶然にポルノグラフィーを見ることになる可能性は残ります。神が与えてくださった性的な感情を生涯を通じてコントロールし、清さを維持する努力を続けなければならないのです。

IV. 全ての人への思いやり

では、ポルノグラフィー依存に陥ってしまった人にどう接するべきかについて話しましょう。わたしたちは皆、イエス・キリストの贖罪を必要としています。ポルノグラフィーで苦しん

でいる人が必要な原則に従って立ち直りのステップを踏み出すとき、彼らにはわたしたちの思いやりと愛が必要です。どうか彼らを責めないでください。彼らは悪人ではありませんし、希望がないわけでもありません。天の御父の息子娘なのです。正しく完全な悔い改めをすれば、彼らは再び清く純粋になり、神が約束しておられる全ての聖約と神殿の祝福を受けるにふさわしい者となれるのです。

結婚適齢期の若い女性と若い男性には、主の前に清く、神殿に参入するふさわしさのある人で、永遠の伴侶となるパートナーを注意深く選ぶように勧めます。ポルノグラフィーから十分に悔い改めた人は、そのような祝福を受けるに値するふさわしさを備えています。

わたしたち一人一人には
貴重な選択の自由が
与えられており、
それによって
贖罪の力と強さに
頼ることができます。

V. 終わりに

生涯を通じて、わたしたちは皆、性的な内容のものに遭遇しますが、愛ある救い主の導きと、聖餐の祈りで保証されているように主の御霊をいつも受けられるわたしたちは、常にふさわしい対応を取ることができます（教義と聖約 20：77 参照）。これが、わたしたちが礼拝する主の祝福を受けるために行うべきことであると証します。これを行うとき、わた

したちは救い主の平安をより完全に受けることができ、昇栄という永遠の受け継ぎを受ける道を歩み続けることができるのです。■

注

1. ダリン・H・オークス「ポルノグラフィー」『リアホナ』2005年5月号 87 - 90 参照
2. ダリン・H・オークス“Sins and Mistakes,” *Ensign*, 1996年10月号, 62 - 67 参照
3. ドナルド・L・ヒルトン, ジュニア, M.D., “Pornography Addiction—a Supranormal Stimulus Considered in the Context of Neuroplasticity,” *Socioaffective Neuroscience and Psychology*, 第3巻 (2013年), socioaffectiveneuroscipsychol.net/index.php/snp/article/view/20767 ; “Porn Changes the Brain,” fightthenewdrug.org も参照
4. *Webster’s Encyclopedic Unabridged Dictionary of the English Language* (1989年), “habit”
5. *American College of Physicians Complete Home Medical Guide* (1999年), 564.
6. さらに、親子で人間の生殖について率直で適切な話し合いをするべきです。親からでなく、同年代の友人から人間の性について聞く青少年は、それに関する情報をポルノグラフィーに求める傾向が高いからです。
7. ゴードン・B・ヒンクレー「悲劇をもたらす悪」『リアホナ』2004年11月号, 62

ふさわしいときに ふさわしい場所で



自分が誰かに何かをしたり、言ったりしたときに、その人からちょうどそのことを必要としていたと言われたことがありますか。そのようなことが起こるのは、天の御父が、まさにそのときに、あなたを助け手として遣わされるからです。あなたは御霊と波長を合わせていたので、天の御父の促しに気づくことができたのです。いつもふさわしくあり、積極的に助けることです。あなたがいつ天の御父に必要とされ、誰かの天使になるかわからないからです。

そのことを実際に経験した人たちの話を二つ紹介します。

駐車場のチケット

ファティマ・ローシャ・グティエレス

教会の友人と一緒に映画を見に行きました。商店街に入ったとき、駐車場のチケットをもらいました。映画が終わって気づいたので

すが、駐車場のチケットがなくなっていました。最初はチケット代ぐらい払えると思いましたが、誰も罰金を払うのに必要な180ペソの持ち合わせがありませんでした。

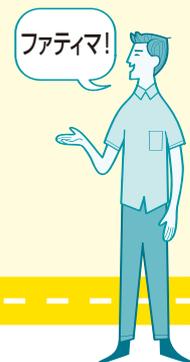
駐車代を払わなければ、商店街に置いてある車は牽引され、そうなるお、お金がもっとかかることになります。友人たち、特に、車を運転していた友人はすっかり気落ちしてしまいました。彼の父親の車だったからです。わたしはその場から離れて祈りをささげました。問題を解決し、無事に帰る方法を示してくださいよう、ありったけの信仰を振るい、心からへりくだって天の御父にお願いしました。その祈りが終わってからほんの数秒後に起こった出来事を、わたしは決して忘れないでしょう。

車の方に戻ろうとすると、誰かが後ろからわたしの名前を呼びました。

それは高校の友人、フランシスコでした。どうしたのかと尋ねられ、わたしはそれまでの経緯について説明しました。すると、ためらうことなく彼は財布を取り出し、なくなったチケットの代金を払うのに十分なお金をくれたのです。この親切な行為は、天の御父に対するわたしの切なる願いへの即座の答えでした。

フランシスコは自分がどれほど大きな助けになったのかまったく分からないかもしれませんが、きっとわたしは生涯にわたって深く感謝することでしょう。

天の御父は、わたしたちの祈りに驚くべき方法でおこたえになることがあります、それは偶然に起こったことではありません。天の御父とイエス・キリストはわたしたちのことを完全に知っておられ、わたしたちに導きを与えてくださるのです。





天の御父はわたしたちに数えきれないほどの祝福を授ける力を持っておられます。わたしたちが義にかなった生活を送るとき、そのような祝福にあずかることができることを知っています（アルマ 37：37）。■
 筆者はメキシコのパハ・カリフォルニア州在住です。

ちょうどよいときにかかってきた電話

チン・チェン・チェン
 陳 靜 涓

大人になったわたしは、神の存在を信じていませんでした。わたしの人生は苦悩に満ち、最悪のときには、命を絶ちたいと思うほど落ち込んだこともあります。ちょうどそんなときに、宣教師がやって来て、家のドアをノックしました。福音はまさしくわたしが必要としているものでした。わたしはまるで磁石に引かれるように、福音に引かれました。

教会員となっても、わたしの試しは終わりませんでした。以前よりもサタンの影響に立ち向かうことができるようになりました。幸福とはどの

ようなものなのか、わたしは初めて理解しました。

しかし、落ち込むと、その状態から抜け出すのは容易ではありませんでした。また諦めたいと思ったことがありました。そのときビショップの奥さんである丁^{テイ}姉妹が電話をかけてきました。わたしに電話をかける必要があると感じたと言うのです。どうしているかと尋ねられました。わたしは自分のことを何もかも話しました。わたしにとって、彼女は神から遣わされた天使でした。

その出来事にわたしは力づけられました。わたしの信仰は深められ、死に打ち勝てるように感じました。アルマ 36：2-3 に書かれているように、解放されたと感じました。

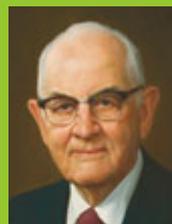
「わたしたちの先祖は奴隷の状態にあり、……神のほかにはだれも彼らを救い出せなかった。……」

神に頼る者はだれであろうと、試練や災難や苦難の中であって支えられ、また終わりの日に高く上げられる……。」

試しがなくなったわけではありませんが、もう簡単に打ちのめされる

ようなことはないでしょう。あらゆる試しや悩みのときに、主はわたしを支えてくださいました。主は霊的な監獄や束縛、そして死からさえも、わたしを救ってくださいました。主はわたしの救い主です。■

タイワン・タイチエウ
 筆者は台湾台中在住です。



神はわたしたちを見守っておられる

「神はわたしたちを心に留め、見守っておられます。しかし、神は普通、誰か他の人を通してわたしたちの必要を満たされます。ですから、王国で互いに仕え合うことがきわめて大切なのです。」

スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985 年）
 『歴代大管長の教え —— スペンサー・W・キンボール』
 82

あなたの命の書

そこにあなたは何を記入しますか

毎日、新たなページが開かれ、そこに何かを記入します。

どのページにも「やっておけばよかった」ではなく、「やってよかった」と記入されるような生活を送りましょう。

(L・トム・ベリー「命の書の記入の仕方」『リアホナ』2014年2月号、61参照)



創世 1:26-27

神の形に創造されるとはどういう意味でしょうか。



神のかたち

「自分の能力よりも高い能力の存在を認めることは、いかなる意味においても人の価値を下げることはありません。むしろ、人を高めることなのです。自分が神にかたどって造られていることを理解しさえすれば、神に近づくことが難しいとは思わなくなるでしょう。……信仰を通して得たこの知識は、平穏な心と深い安らぎをもたらしてくれるでしょう。」

トーマス・S・モンソン大管長
「主の灯台」『リアホナ』1991年1月号, 109 参照

われわれ

この複数表現は、神が他の誰かに話し掛けておられるかのようです。実際にそうされているからです。ジョセフ・スミスはこう教えています。「初めに、神々の頭は神々の評議会を召集されました。そこで神々はともに集まり、地球を創造してそこに人を住ませる計画を立てられた〔準備された〕のです。」(History of the Church, 第6巻, 308) この評議会には主イエス・キリストがおられ、他の者も出席していました(モーセ2:26-27; アブラハム4:26-27 参照)。

われわれにかたどって

「神御自身、かつては今のわたしたちのようであられました。そして今は昇栄した御方であって、かなたの天で

御座^{みざ}に着いておられます! これは大いなる奥義です。もし今日暮が裂けて……もし今日皆さんが神を目にしたならば、皆さんは神が人に似た形をしておられること、すなわち、体、形、姿が全て皆さん自身のようであられることを知るでしょう。」

『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』(2007年), 40

三神はまた言われた、「われわれのかたちには、われわれにかたどつて人を造り、これに海の魚と、空の鳥と、家畜と、地のすべての獣と、地のすべてのこのうものを治めさせよう」。三神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。

であるわたしたちには、悠久の年月の経験を経て徐々に進歩し、神となる力があるのです。」

大管長会, "The Origin of Man," *Improvement Era*, 1909年11月号, 81; *Ensign*, 2002年2月号, 30

治めさせよう

「地球と地上の全ての物は、人類家族を養うために責任をもって使わなければなりません。けれども、全ての人は、この地球とその賜物の所有者ではなく管理人なのです。そして神の創造物を使って行ったことについて、神の前で報告することになるでしょう。」

"Environmental Stewardship and Conservation," *mormonnewsroom.org*. 教義と聖約 104 : 13-15 も参照

男と女

「男と女は全て、天の御父と御母にかたどられており、文字どおり神の息子、娘なのです。」

大管長会, "The Origin of Man," *Improvement Era*, 1909年11月号, 78; *Ensign*, 2002年2月号, 29

「性別は、人の前世、現世および永遠の状態と目的にとって必須の特性なのです。」

『家族——世界への宣言』『リアホナ』2010年11月号, 129

「人は神の子供です。神にかたどられて、神の属性が授けられています。そして地上の父母の幼い息子であって、やがて成人男性となる力があるように、日の栄えの両親の未熟な子供

編集者注——このページの目的はセミナーのマスター聖句の完全な解釈を示すことではありません。このページを参考にして各自で学習を深めてください。

真理 を 探し求めて

わたしは神のようなものは存在しないといつも教えられてきました。
でも、わたしは自分でそれを知ろうと決意しました。

77 ベン
華 鵬

競争も激しく、無宗教で知られたアジアのある国で生まれ育ったわたしには、いつも成功した人物になりたいという大きな夢がありました。でも、自分の指針となる永遠の原則や真理は持ち合わせてはいませんでした。わたしの国では、「成功」というのは、富と権力があるということです。

両親はいつもわたしに、神のようなものは存在しないと教えていました。両親にとって、宗教や神などというものは、ナンセンスの塊であって、弱い人間しか求めないものなのです。長い間、わたしは自分が無神論者だと思っていました。両親はわたしに、頼れる者は自分しかいないんだから、と教えていました。そのため、わたしは幼い頃からできるだけ野心を高く抱き、それに触発されて、必死で勉強に励んできました。

そんなわけで、わたしは両親から大きな期待をかけられていました。両親は、どんなときでも、最高の成績を修めてほしいと願っていたのです。わたしの成績が悪かったとき、両親のがっかりした顔を見たり、二人が言い合ったりしているのを聞くのは、わたしにもつらいことでした。わたしは、学校の勉強の他に、週末にはさらに別の課題をこなさなければなりません。「優」の成績を維持するためです。

自分で立てた目標に到達した後でも、自分の人生にはまだ他にすることがあると感じていました。心の奥深くで、自分には、間違いなく、もっとしなければならぬことがあるということを知っていたのです。

ある日のこと、わたしは神が存在するのかどうかを自分で知ろうと決意しました。神が存在するのなら、神がわたしに何を望んでおられるのか知りたいと思いました。あるいは、宗教というものが人の想像力で創作されたナンセンスの塊なのかどうかを知りたいと思ったのです。どちらの答えがもたらされたとしても、わたしは怖くはありませんでした。

ただただ真理を知りたかったのです。

ほぼ同じ頃、わたしはバスケットボールのチームメートの一人であったテイラーという友人と親しくなります。ある朝、わたしは彼に学校まで車に乗せてくれないかと頼みました。彼は、いいよと言ってくれたのですが、1時間早く起きて、一緒にセミナーに付き合ってもらふ必要があると言うのです。わたしは気乗りがしないまま、分かった、と答えたのですが、セミナーが何なのか、まったく分かっていませんでした。セミナーは楽しい時間でした。学んだ内容よりも、心の中に感じたことのせいで楽しかったのかもしれない。

それからしばらくしてテイラーは、一緒に教会に行かないかと誘ってきました。最初のうち、わたしは、教会というのは少し退屈で、現実離れしている場所だと感じていました。しかしだんだんと、礼拝行事のときに感じた温かく平安な気持ちによって、心が動かされていったのです。

わたしはそれでもなお、良い気持ちを感じたからといって、それは神の存在とは無関係だと、自分に言い聞かせて続けていました。そのような思いは自分から湧き上がってきたわけではないと、どうして分かったのでしょうか。自分で自分にそう思い込ませていたわけではないということ、どうして言えるのでしょうか。

心の中でさまざまな問答を繰り返した後、わたしはその答えを求めて、テイラーのお母さんのところへ行きました。彼女はわたしに、聖文を読んで、自分の求めている答えについて祈ったら、答えを受けられると言うのです。わたしは祈りましたが、何の答えも得られませんでした。そして、自分の学んでいた規則や戒めに従おうと苦しんでいました。何度も挫折しそうになりました。わたしは、神が何か不思議な劇的な方法で御姿を現されるのではないとか、何らかの奇跡が起きて、神が現実におられる存在だと

いうことを証明してくれるのではないかと、といった期待をしていました。基本的に、わたしは、直ちに揺るぎない証^{あかし}というものを得たいと願っていたのです。しかし、実際は、祈りを重ねるたびに、初めて明瞭に見えてくるものが増えていったのです。戒めに従えば従うほど、自分も幸せになっていきました。聖文を読めば読むほど、啓示ももっと頻繁に受けるようになりました。次第に、わたしの証も強まり、まるで朝に昇る太陽のようになっていきました。

結局、バプテスマを受けて末日聖徒イエス・キリスト教会の会員になろうと決意ができるまで、2年かかりました。それまで自分なりに立派な道徳の標準や原則に従って生活してきたのですが、今のわたしは、永遠で究極の真理、つまり神が生きておられる、という真理をついに見つけたと言うことができます。イエスはキリストであり、救い主^{あがな}、贖い主であられます。天は開かれています。神の預言者は現在も地上を歩んでいます。イエス・キリストの贖罪^{しよぐい}は現実のものです。神は確かに悔い改めた罪人を全て赦してくださいます。わたしは他の人々ほど賢くもなく、才能にも恵まれていないかもしれません。しかし、わたしの持つ知識の価値は計り知れないものなのです。■

筆者はアメリカ合衆国カリフォルニア州在住です。



信じることを選ぶ

「信じること、証、および信仰は受動的な原則ではありません。これらは何の努力もなしにわたしたちに生じることはありません。信じることはわたしたちが選ぶものなのです。つまり、それを望み、そのために努力し、犠牲を払うのです。わたしたちが偶然祈ったり^{しやうみん}自分の一を支払ったりしないのと同様、わたしたちは偶然救い主や主の福音を信じるようになることはありません。ちょうど戒めを守ることを選ぶように、わたしたちは積極的に信じることを選ぶのです。」

七十人会長会 L・ホイットニー・クレートン長老
「信じることを選ぶ」
『リアホナ』2015年5月号, 38





聖文の中の 驚くべき 若い男性と若い女性

聖文に残されている、多くの義にかなった若人の模範から学び、
それに従うことができます。

キセラ・ガシア

主は教会の若人を愛しておられます。主は皆さんを心から信頼しておられます。どの時代にも、主は御自分の民を導くために、雄々しく勇敢な若い男性と若い女性に靈感を与えてこられました。主は、その創造性と勇気、独創性を必要としておられます。これまでも、そしてこれからもそれは変わりません。

若い英雄たちが示した数多くの模範は、聖典の至る所で、大切なテーマとなっています。はるか昔に生きていた人たちですが、わたしたちはその模範に従い、その生涯について語ることはできます。彼らにも家族の問題がありましたし、邪悪な人々の中で生活しました。「ゴリアテ」に直面しましたが、その勇気と従順、イエス・キリストを信じる信仰により、自分たちが直面した試練を乗り越えることができました。こうした特質があれば、皆さんも同じ経験をすることができるのです。

アブラハム

罪悪を責めるに際して、アブラハムが示した意志の強さ、勇気、態度には驚くべきものがあります。それは父親が偶像礼拝者であったことを考え合わせるならばなおさらです。まだ若かったにもかかわらず、アブラハムは正義を力強く擁護し、いけにえとして殺されそうになったほどです。(アブラハム 1:2-7 参照)

エジプトのヨセフ

ヨセフは17歳のときに、年上の兄弟たちの手で奴隷として売られました。主の祝福により、この困難な状況を転じて好機とすることができました。負けませんでした。決して諦めなかったからです。ヨセフは主を信頼し続けました。ヨセフの内面的な偉大さは、自分の身に受けた不当な扱いを赦したその高潔な態度に現れました。(創世 37 章、45 章参照)

ダビデ

10代の頃、ダビデは羊飼いでした。そして父親の羊を守るために、熊やライオンと戦いました。ゴリアテと戦ったときのダビデの自信は、羊飼いと自分の能力に根ざすものではなく、天の御父を信じる信仰に根ざすものでした。(サムエル上 17:32-54 参照)

エステル

エステルは、民を救うためなら、自らの命を危険にさらしてもよいと覚悟していました。この女性を偉大にしたのは、その美貌ではなく、霊的な特質でした。(エステル 4-5 章参照)

ダニエル

ダニエルは、周囲の人々からの妨げにもかかわらず、主の健康の律法に従いました。王の命令に反することでありながらも、天の御父に祈りました。ダニエルは、義にかなった生活を



送り、御霊から与えられる靈感を素直に受け入れたことにより、主から祝福として夢と示現を解釈する賜物^{たまもの}を授かりました。天の御父から力と知恵を授かっていたので、危険にさらされても、天の力を自在に駆使できるほどでした。(ダニエル1章, 6章参照)

ニーファイ

ニーファイはすばらしい模範を示し、こう語っています。「わたしは行って、主が命じられたことを行います。」(1ニーファイ3:7) ニーファイは命じられたことを行う勇気がありました。居心地の良い家に住んでいたのでしょうか。いいえ、何年もの間、荒野で生活しました。物事はうまく運んだのでしょうか。いいえ、兄たちは何度も彼に腹を立て、殺そうとしたことさえありました。ニーファイはその間ずっと、主の戒めに従いました。

2,000人の若い兵士たち

この若い男性たちは忠実な親に育てられました。また、母親の語った

言葉を信頼したことにより祝福を受けました。耳を傾け、従うことを学びました。そして戦っているときに天の御父が守ってくださることを疑いませんでした。(アルマ56:45-48参照)

モルモン

モルモンは15歳のときに、主の訪れを受けました。周囲の人々が汚れたことを行っていたにもかかわらず、謙遜で清く、純粋だったからです。同じく15歳のときに、軍隊の指導者となりました。後に、聖典を保管する務めを任されました。(モルモン1-2章参照)

ジョセフ・スミス

14歳のときに、ジョセフ・スミスは聖文を研究し、どの教会に加わるべきかを知るために祈りました。主は、イエス・キリストの福音と教会を回復するために、彼を召されました。多くの妨害や困難があったにもかかわらず、ジョセフは生涯を通じて、その召しを果たしました。17歳のときに、

天使モロナイの訪れを受け、金版を見る機会にあずかりました。ジョセフ・スミスは、若い頃から周囲の人々を力強く教え、すばらしい模範を示しました。(ジョセフ・スミス—歴史1章参照)

現代

驚くべき若い男性と若い女性の時代は終わったのでしょうか。いいえ、そうではありません! 天使モロナイは、ヨエルの預言は今まさに成就しようとしているとジョセフ・スミスに告げました。

「その後わたしはわが霊をすべての肉なる者に注ぐ。あなたがたのむすこ、娘は預言をし、あなたがたの老人たちは夢を見、あなたがたの若者たちは幻を見る。

その日わたしはまたわが霊をしもべ、はしために注ぐ。」(ヨエル2:28-29; ジョセフ・スミス—歴史1:41参照) ■

筆者は、セミナリーの教師を務め、ドイツに住み、2012年に亡くなりました。

「母が病気になったとき、
わたしたちは母のために
断食して祈りました。
それなのに、母は死んでしまいました。
どうしたらこの事実を受け止めて
平安を得られるでしょうか。」

あなたにとって今はつらく悲しい時期です。誰もが
多くこのような疑問を抱き、確信と答えを求め
ます。「なぜ彼女は亡くなってしまったのだろうか。
もう一度彼女に会えるのだろうか。どうしたら
彼女のいない人生を送っていきけるだろうか。」

イエス・キリストの福音は慰めと答えの両方を与えてくれます。
主はこう約束しておられます。「悲しむ人々は皆、幸いである。彼ら
は慰められるからである。」(3 ニーファイ 12:4) 聖霊の導きを
求めてください。聖霊は慰め主であられるからです。

自分の祈りは聞かれているのだろうかと思うかもしれません。
安心してください。天の御父は、わたしたちの祈りをいつも聞いて
おられます。聖文や生ける預言者も、そのことが真実であると約束
しています。主がジョセフ・スミスに語った言葉は、あなたにも
当てはまります。「あなたの祈りとあなたの兄弟たちの祈り〔は〕
わたしの耳に達した……。」(教義と聖約 90:1) ただ覚えておか
なければならないことがあります。天の御父は永遠の観点からわ
たしたちの祈りにこたえられるということです(イザヤ 55:8-9
参照)。だからこそ、わたしたちは救い主の模範に倣って、祝福は
求めますが、その際に、御父の御心みこころがなるようにと心から祈るの
です(ルカ 22:42 参照)。

つらい経験ですが、この試練の期間を乗り越えることで、あなた
は成長することができます。主の御心を信頼することを学ぶことが
できます。たとえお母さんが癒やされないという結果になったと
してもです。もちろん、あなたはお母さんに生きてほしかったこと
でしょう。しかしこの現世の試しはいつも、とりわけ、そうすること
が難しいときに、神を信頼するということなのです。神を信頼すれ
ば、「万事が〔あなた〕の益となるようにともに働くで〔しょう〕。」
(教義と聖約 90:24)

死は神の計画の一部である

天の御父がわたしたちのために立て
られた幸福の計画によれば、わたした
ちが御父のもとに戻るために死と
復活は不可欠です。この二つがある
おかげで、わたしたちは死すべき状態
から不死不滅の状態へと変化を遂げ
ることができるのです。必要なのは、
ただ、死がこの計画の一部である
ということを受け入れ、亡くなったお母
さんと再会できると信じることです。
お母さんが霊界にいて、あなたを待っ
ているということは間違いありません。

デビッド・M, 18 歳
(コンゴ民主共和国, 西カサイ州)

あなたのお母さんは霊界にいます

わたしの母は2年前に癌がんと診断され
ました。母が苦しむ姿は見たくありま
せませんでした。自分に何かできることが
あればいいのと思いました。母は
快復しましたが、それでもつらい経験
でした。あなたのお母さんは、痛みや
苦しみを感ぜないで済む所にいます。
彼女に会えなくなってつらいでしょう
が、あなたは一人ではないのです。お
母さんはいつもあなたを愛しています
し、天の御父は、あなたが落ち込んで
いるとき、いつもあなたを励ましてくだ
さいます。放っておかれることはない
のです。イエス・キリストは世の人々
の痛みを御自身の身に受けられました。
ですから、あなたがどのように
感じ、何を体験しているのか御存じ
です。わたしが試練のときにしたこと
を試してください。主のもとに行って

ください。そうすれば主はあなたの重荷を軽くして下さいます。

シャイロ・W, 18歳 (メキシコ, チワワ州)

あなたの家族は 一つに結び合わされる

わたしの母は、わたしがまだ12歳のときに亡くなりました。その頃、わたしは教会員ではありませんでした。母の具合が悪かったとき、わたしは母が元気になるよう何度も祈りました。深い信仰があり、神を信頼し、母の健康が快復するよう望んでいました。残念ながら、彼女の健康は快復しませんでした。わたしは、母がそれほど若くして死に、わたしがまだ12歳のときにわたしを残して去ったのはなぜなのか疑問を抱きました。わたしは憤りを感じ、神の存在を疑うほどになりました。教会員となった今は、救いの計画を理解しています。わたしは母がわたしを待っていること、またわたしたちの家族が一つに結び合わされることを知っています。

イネ・L, 19歳 (ブラジル, ミナスジェライス州)

試練から学ぶ

わたしの母は3年前に亡くなりました。困難なときに、天の御父と救い主に頼ることで、あなたは御二方との関係を深めることができます。そのような試練は、悲惨な経験かもしれませんが、祝福ともなり得るのです。平安と確信が得られるよう天の御父に祈ってください。あなたの益となる主の計画を信頼してください。天の

御父はわたしたちの行く先と、そこへたどり着くために必要な事柄を御存じであるということを感じてください。主はあなたを愛し、あなたの幸せを願っておられます。わたしたちは試練を通して、学び、強くなることができるのです。

メーガン・B, 18歳 (カナダ, オンタリオ州)

お母さんに再会できます

祖母はわたしの母が17歳のときに亡くなりました。祖母が亡くなる前に、家族として、何週間も断食し、祈りました。神権の祝福も施しました。母が平安を感じられた大きな理由は、来世で再び祖母に会えるという確信があったからです。母には、そのような祝福にあずかることができるような人生を送るという目標があります。この世で祖母に会えないのは悲しいことですが、いつの日か彼女に会えるそのときを楽しみにしています。

キャリー・R, 15歳 (アメリカ合衆国, ユタ州)



できることは 全てやったのだ

「病人の癒やしについて、主ははっきりとこうおっしゃいました。『さら

にまた、わたしによって癒されるという信仰を持っていて、死に定められていない者は、癒されるであろう。』(教義と聖約 42:48, 強調付加) わたしたちは多くの場合『死に定められていない者』と限定している一文を見落としがちです。……熱烈な祈りをささげ、神権の祝福を施したにもかかわらず、愛する者が快復の兆しを見せなかつたり、この世を離れたりすることがあっても、どうか望みを絶ってしまわないでください。できることは全てやったのだと元気を出してください。……祈りをささげ、断食をし、信仰を表したことは、その子のためであったこともさることながら、わたしたちのためであったとも言えるでしょう。」

七十人 ランス・B・ウィックマン長老
(1994 - 2010年)
「たといそうでなくでも」
「リアホナ」2002年11月号, 30 - 31

次回の質問

「自分の標準を
高めるためには、
標準の異なる友人を
持つ必要がある
と言う人がいますが、
本当にそうなのでしょうか。」

あなたの意見と、高解像度の写真(写真の掲載を希望する場合)を、2015年11月15日必着で liahona.lds.org に投稿するか、liahona@ldschurch.org まで電子メールをお送りください。郵送することもできます(郵送先については、3ページをご覧ください)。

電子メールまたは手紙には、次の情報と承認の意思を必ず明記してください。(1)氏名、(2)生年月日、(3)ワードまたは支部、(4)ステークまたは地方部、(5)意見と写真の掲載を許可するというあなたの同意文。18歳未満の場合は保護者の同意文も必要です(電子メール可)。

掲載される際、誌面の都合上、あるいは^{必要に応じて}明瞭な表現にするために編集されることがあります。

勝利の選^えび

勝^かてるチームでプレーできるせ^せっかくのチャンスを、どうしてことわる^{ことわる}ことなんてできる^{できる}のでしょうか?

教会機関誌

マリッサ・ウィディソン

本当にあったお話をもとに書かれました。

「安息日^{あんそくにち}を覚えて、これをせいなる日^ひとしてたもちなさい。」
(モーサヤ13:16)

急^{いそ}いで玄関から家に入ったミランダは、外の夏の暑^{あつ}さにくらべて家の中はすずしくてありがたいと思^{おも}いました。今シーズン最後のサッカーの試合の後、あせだくで帰^{かえ}って来て、自分のチーム、ティール・ターボスが

負けたので、いらいらしていました。また負けたのです。

お母さんが、試合から持ち帰った水筒と残ったオレンジのスライスを持って部屋に入って来ました。「いい試合だったわ。ゴールキーパーは大変な仕事^{たい}よね。」

ミランダはたしかによくがんばりました。たくさんシュートを止めましたし、いつもより力強くけり返しました。でも、同じチームのほとんどの女の子たちが今までサッカーをしたことがなくて、今日で正式に今シーズンの全敗が決定^{けんぱい}しました。

「ときどきでもいいから勝てるチームに入っていたかったわ、そうでしょ?」ミランダの目からなみだがこぼれ、青緑色のジャージに落ちました。ミランダが目をぎゅっととじると、そのとき電話が鳴りました。

お母さんが電話に出て、少しして「あなたによ」と言いました。

「もしもし、ミランダ? チリ・キッカーズのコーチ、トムだ。今日、君たちの試合を見ていたんだが、君はとてもいいプレーをしていたね。」

ミランダは心臓がときどきし始めました。チリ・キッカーズはリーグの中で一番のサッカーチームです。

「うちのチームが来月地区大会に出るんだ。今日の君のプレーがすごくよかったから、補欠のゴールキーパーとして、一緒に来てほしいんだが。」

ミランダの心臓は飛び出しそうでした。勝てるチームでプレーできるチャンスがおとずれたのです。

「行きたいです。」ミランダは答えました。少しの間細かいことを話してから電話を切ると、ミランダは別の部屋にいたお母さんに話に行きました。二人で練習や試合の日程を家族のカレンダーに書きこみ始めました。

お母さんが急に書くのをやめて、ペンをカレンダーの記入らんの上^{うへ}にうかせたまま言いました。

「あら。ミランダ、試合は全部日曜日にあるわ。ほら、見て。」お母さんが試合の予定を指さしながら、心配^{しんぱい}そうな





喜びの日

聖文はわたしたちに、安息日は喜びの日とするべきであると教えています（イザヤ58:13を見ましよう）。日曜日にできることで、幸せな気持ちを感じられることは何でしょう。天のお父様を礼拝するために、どんなすてきな、アイデアにあふれた方法が考えられるでしょうか。

顔でミランダの方を見ました。「どうしたらいいと思う？」

ミランダの心はずみましました。くちびるをかみながら、何が選べるかを考えてみました。もしお願いすれば、お母さんは試合に出させてくれるかもしれない。でも、日曜日にサッカーをすること、特に教会に行けないことを考えると、もやもやした気持ちを感じました。日曜日は教会に行って神様を礼拝する日だということ、そういうことはサッカーをしてはできないということは分かっていました。

「コーチに電話して、試合に出られないって話そうと思うわ」とミランダは言いました。泣かないように何とかこらえました。正しい選びであることは分かっていたのですが、心からやりたいと思っていることをあきらめるのはむずかしいことでした。

「お母さんが考えてること分かる？」と言ってお母さんがミランダをぎゅっとだきしめてくれました。「あなたは、ほんとにすてきな子よ。」

次の日曜日、ミランダは初等協会に出ですわりながら、自分のした良い選びについて考えました。ミランダが電話で、日曜日はサッカーができないと言ったとき、コーチはおどろきました。何とか説得しようとしたのですが、ミランダは考えを変えようとしませんでした。ミランダは今、初等協会の歌やレッスンを聞きながら、ほほえみしました。心の中に平安な気持ちを感じ、自分はふさわしい場所にいると告げられた気がしました。ミランダは結局、勝利の選びをしたのです。■



教会いのであることで、 一番好きなことは何ですか



せいさん会の間、イエス・キリストを思い出すためにパンと水をとることが好きです。パンはイエスさまの体を思い出させてくれて、水はイエスさまのちを思い出させてくれます。せいさんをうけているとき、目をとじて、イエスさまがわたしたちのためにしてくださったたくさんのおもひ出すことができます。

エイバ・J、9才 (アメリカがっしゅうこく、ノースカロライナしゅう)



ぼくは、初等協会に行ったり、歌を歌ったりすることが好きです。

ヘイデン、5才 (アメリカがっしゅうこく、ユタしゅう)



わたしはイエス・キリストについて学ぶことが好きです。そして、初等協会に行くとみんなと友達になることが好きです。

キャサリン・W、7才 (アメリカがっしゅうこく、ノースカロライナしゅう)



わたしは、家族が永遠と一緒にいられることを学ぶことが好きです。(リーン)
友達ができます。毎日聖文を読めるし、福音を学べます。(ラルフ)

リーン・E、11才とラルフ・E、10才 (フィリピン、メトロ・マニラ)



友達をたくさん作るし、教会いでない友達にふくいんについて教えられることが好きです。そう大会で、預言者や使徒のお話を聞くことができます。時々アイスクリームを食べに行くので、家庭の夕べもとても楽しいです。アイスクリーム、おいしい!

サバナ・H、12才 (アメリカ合衆国、ワシントン州)



せいいいをかんじるときが好きです。お話をレッスンを聞いているとき、よくせいいいをかんじることが出来ます。人をたすけるときもせいいいをかんじます。

カイリー・C、7才 (アメリカがっしゅうこく、バージニアしゅう)



わたしが好きなのは、あそびながらべんきょうできることです。そうすると、イエス・キリストについてよく学べます。イエスさまはわたしのすくいぬしなので、イエスさまについて学ぶことが好きです。(リス)
ぼくはイエスさまについて学ぶことが好きです。イエスさまがぼくたちをあひしてくださっていることを知っています。(ラロ)

リス・S、8才とラロ・S、6才 (アメリカがっしゅうこく、カリフォルニアしゅう)

つぎのしつもん

「お母さんとお父さんが言い合いをするとき、とてもふあんでかなしくなります。どうすればよいでしょうか。」

何かアドバイスがありますか。あなたの答えとしゃしんを2015年10月31日までにおくってください。おくり先のじゅうしょは3ページにあります。電子メールは liahona@ldschurch.org におくってください。(けんめいに「しつもんコーナー」と書いてください。) 親のきよか文も入れておくってください。

本誌の答えは、問題解決の一助となるように意図されたものであり、教会の教義を公式に宣言するものではありません。

わたしたちの ページ



しまい宣教師, アプリル・S, 9才 (メキシコ)



神様, 感謝します
 神様, 光を感謝します
 昼も夜もかがやいてくれます
 神様, 木を感謝します
 強い風をやわらげてくれます
 神様, 言葉にならないほど感謝します
 神様がわたしの命をつくってくださったことを
 心の底から知っています
 この世の人生は良い時ばかりではないけれど
 生きているだけで, 心は満たされます
 ニーシャ・J, 10才 (パラオ共和国)



アルゼンチンの同じワードで, 4人の男の子が同じ日にバプテスマを受けました。ビショップ (中央) が4人と一緒に立っています。



お兄ちゃんと, 家族で仲良くしている友達が伝道のめしを受けました。二人が神殿のエンダウメントを受けられるように, 8時間車を運転してドイツのフライブルグまで行きました。
 家族で神殿の儀式をたくさん受けるために, 5日間そこにいました。神殿の敷地内には, 家族がとまれる宿泊所があります。他の子供たちと一緒に庭の手入れをしている人を手伝って, アイスクリームをもらいました。とても楽しい時間をすごしました。
 来年12才になって, 神殿でバプテスマを受けられるのを楽しみにしています。
 アリッカ・S, 11才 (スロバキア)

ペテロとコルネリオと 天使



エリン・サンダーソン

イエスが復活されて天にもどられた後、ペテロと他の使徒たちは多くの場所で福音を教えました。ユダヤ人にかぎられていました。

コルネリオはローマ軍の隊長でした。神を信じていましたが、ユダヤ人ではありませんでした。天使がコルネリオにあらわれて、使いを送ってペテロをよびに行かせるようにと言わ

れました。コルネリオはペテロを見つけるために使いを送りました。せいでペテロに使いと一緒に行くようにと告げられました。

コルネリオの家で、ペテロはそこに集まった多くの人々に教えました。ペテロがイエス・キリストの福音について話すと、人々はせいいいを感じ、それは真実だと知りました。ペテロが

ユダヤ人でない人々にも福音を教えたこと知ったユダヤ人たちはショックを受けました。でもペテロは、イエス・キリストの福音はすべての人のためであることが分かったと人々に伝えました(使徒 10:1-48; 11:1-18 を見ましょう)。

このお話を書いた人はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。



分かち合う

そなえをしましょう！

良い宣教師になる一つの方法は、もっとイエスのようになるとすることです。名札を切り取って、伸ばしたい特質を書き入れましょう。「親切長老」や「感謝しまい」になろうと努力することもできますね。目標を思い出すことができる場所に名札をはっておきましょう。

長老

しまい

しまい

長老

家族の話し合い

マタイ 28:19-20 を読みましょう。すべての人と福音を分かち合う方法について話ししましょう。あなたの友達や近所の人々が福音についていっているかもしれない質問を考えましょう。家族とロールプレイをして、質問をしたり、答えたりする練習ができます。



聖文のヒント

学んだことを分かち合うと、聖文がもっとよく理解できます。家族と一っしょに聖文を1節読んで、むずかしい言葉や文章の意味や、あなたにとってその聖文はどのような意味があるか、また、あなたの生活に取り入れる方法について話し合いましょう。

歌 — 伝道についての歌（例 — 「ニーファイのように」『子供の歌集』174）を選びましょう。

せいく — マタイ 28:19-20

ビデオ — モルモンチャンネルで、「いほう人に福音をのべ伝えよというペテロへのけいじ」を見ましょう。

もっと知る

ペテロは弟子としてめされる前、シモンとして知られる漁師でした。イエスはかれにペテロという名前をおあたえになりました。「石」や「岩」という意味があります。イエスがこの世を去られたとき、ペテロは使徒をまとめる人として、教会をみちびきました。ペテロは神権のかぎ、つまり神権のけんのを持っていました。



もう真夜中を
すぎていましたが、
テートは今話すべきだと
分かりました。

たす み
助けを見いだす

キンバリー・リード

本当にあったお話をもとに書かれました。

「天のお父様、わたしはいのりです。

毎日 わたしをみちびき

守ってください!

(『子供の歌集』[英文] 19)

テートは真っ暗な中で目を覚ましたまま、何度もまばたきしてなみだをまぎらわそうとしました。助けを求めているのりでしたが、まるで重い黒雲におおわれて、みたまがさまたげられているような気がしました。

「もしもあのひどいテレビ番組のことを、これからもずっとわすれられなかったらどうしよう」と心配になりました。

2、3日前、宿題が終わったテートは、テレビの番組を次々と変えていたことがありました。でも、まさかテレビ

画面に**あんな場面**がうつるとは思ってもみませんでした。すぐに電源を切ればよかったのですが、あまりのショックにそれさえもわすれてしまうほどだったのです。

それはたまたま起こったことでした。自分から見ようとしたわけではないのに、どうしてもその場面が頭からはなれないのです。学校にいるときや夕飯を食べているとき、教会にいるときにも頭にうかんできてしまいます。そんなとき、お母さんやお父さんが自分の思いを読み取ることができなくてよかったと思いました。テートはお母さんやお父さんから、服を着ていない人の写真や絵を見ないようにと教えられていました。また、二人が、暴力的なテレビや映画を見たり、そのようなビデオゲームをしたりしないでほしいと思っっているのも知っていました。

「理由が分かった」とテートはひとり言を言いました。

テートはベッドから出て、またひざまずきました。どうすればよいのでしょうか。

「天のお父様。」テートはささやきました。「どうか、ぼくが見たものについて考えるのをやめられるように助けてください。」目からあふれるなみだをふいて、耳をかたむけました。テートの心臓のドキドキがもっと速くなりました。せいいいがあることをするようにささやいておられるのを感じました。でもそれは、テートが望んでいた答えではありませんでした。

お父さんとお母さんに話す必要があるという答えだったのです。

「どうしてだろう」とテートは思いました。こんな真夜中にお父さんとお母さんの部屋に行くなんて、まるで小さい子供みたいだと思いました。それにお父さんとお母さんに話すな

んて。はずかしくて、気分が悪くなってきました。

するとそのとき、はっきりとした思いがうかびました。それは「天のお父様は自分に幸せになってほしいと思っておられる」という思いでした。天のお父様は、もう一度みたまを感じられるように、よいことを考えられるように、家族に正直でいられるように願っておられるのです。そして何よりも、あと数か月で12才になるテートに、ふさわしいアロン神権者になってほしいと願っておられるのです。テートは、もしもこのまま、あのとき見たものをそのままひみつにしていたら、ずっといやな気持ちでいるだろうと気づきました。

テートは、自分には助けが必要だと分かっていた。そしてせいいいは、どこに行ったらその助けが得られるかを教えてくださったのです。

テートはベッドのそばの時計の数字が変わっていくのを見詰めました。もう1時近くになっていました。テートは立ち上がると、暗いろうかを、お父さんとお母さんの部屋に向かって歩いて行きました。きんちょうしてごっつとつばを飲むと、ドアをノックしました。

「お母さん？ お父さん？」

「テートなの？」お母さんのねむそうな声がしました。

「どうかしたのかい？」お父さんが聞きました。

「うん」とテート。「ちょっと話したいんだ。それから、祝福してもらってもいいかな。」

お父さんはベッドのわきにある明かりをつけると、テートを部屋の中に入れてくれました。テートは何日かぶりに、温かい気持ちと希望、そして光を感じました。■

このお話を書いた人はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。



こまった! どうしたらいいの?

家でも、学校でも、友達の家でも、それはどこでも起こります。突然、携帯電話やテレビ、パソコンやゲーム、本やざっしから、よくないとわかっているものが目に飛びこんできます。そんなときもっと良い気持ちを感じるために何ができるでしょう。



ただ何もしていないのはやめましょう。よいものを見たり、読んだりしましょう。活動的なことをしましょう。よいことをしましょう。家族や友達のそばにいきましょう。

自分が何者であるかをわすれないください。悪いものを見たからといって、あなたは悪い人になったわけではありません。あなたは神の子であり、神様はあなたを愛しておられます。そして、あなたが安全で幸せでいられるように助けたいとおもておられます。

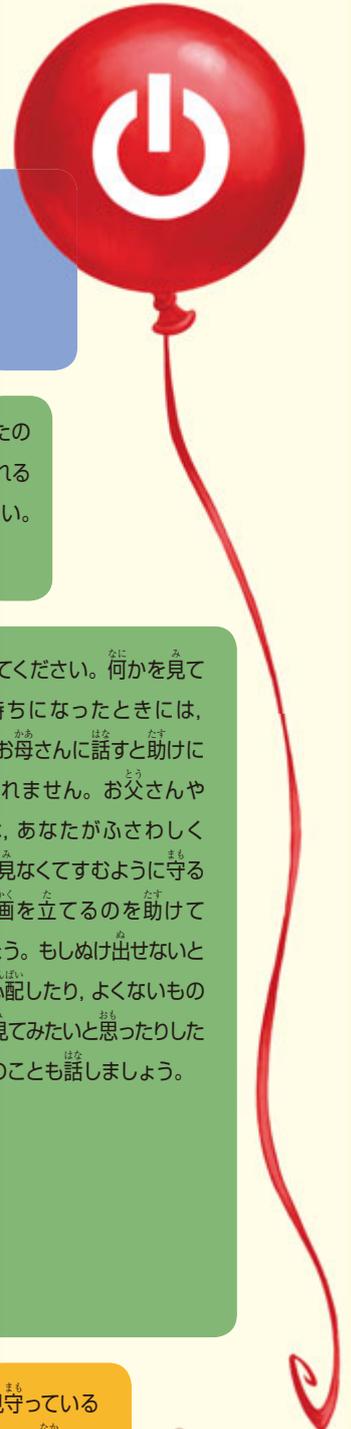
そこからはなれましょう。スイッチを切りましょう。手からはなしましょう。のうにとつて毒だと考えて、そのようにあつかいましょう。本当に毒なのですから。

お父さんやお母さんに話しましょう。お父さんやお母さんはあなたのことを一番よく知っています。そして、あなたが安全で幸せでいられるように助けたいと思っています。はずかしいと思わないでください。あなたが経験したことは、ほとんどの人に起こることなのです。



いつも話してください。何かを見ていやな気持ちになったときには、お父さんやお母さんに話すとお助けになるかもしれません。お父さんやお母さんは、あなたがふさわしくないものを見なくてすむように守るために、計画を立てるのを助けてくれるでしょう。もしめげ出せないと感じたり、心配したり、よくないものをもう一度見てみたいと思ったりしたときは、そのことも話しましょう。

手放しましょう。風船を持っている手を放して、風船が飛んで行くのを見守っている自分を思えがきましょう。リラックスして、見たものがあなたの思いの中から出て行くようにしましょう。それから、神殿や家族や、あなたが好きなものを思いえがいてみましょう。



ポールの かぼちゃ

レイ・ゴールドラップ

ほんとうに あった お話を もとに 書かれました。



ポールは お父さんを 手つだって にわに たねを うえていました。おにいちゃんのエリックが ここに いて、たすけてくれたら よかったのにと 思いました。でも、エリックは 遠い ところで でんどうしています。

「ぜったい ほくは、エリックみたいには なれないな」と ポールが 言いました。「どうしたら エリックみたいに でんどうに 行けるんだろう。」

「しんぱいは いらぬよ」と お父さん。「ポールだって 大きくなるさ。」



お父さんが、かぼちゃの たねを ポールにわたして くれました。そして、ポールがかぼちゃの たねを うえるのを 手つだって くれました。

「この 小さな たねが 大きな かぼちゃになるの？」ポールが 聞きました。

「もしも ちゃんと せわを したらね」とお父さんが 答えました。

ポールは、毎日 にわを 見に やって来ました。水を あげていると、やがて 小さな めが 出ました。はっぱが どんどん 大きくなりました。ポールは よく 注意しながら ざっそうを ぬきました。





秋になると、かぼちゃのくきはだいぶのびて大きなオレンジ色のかぼちゃがなりました。ポールは、お父さんに見せようと手を引いてつれて来ました。「よくかぼちゃのせわをしたね。」お父さんが言ってくれました。

「うん。自分のこともちゃんとせわをするよ。そうしたらほくもおおくなるからね。」ポールはにっこりしました。「そして大きくなったら、エリックみたいにでんどうに行けるんだ!」■

このお話を書いた人はアメリカがっしゅうこく ヌタしゅうに すんでいます。

かぼちゃばたけ

ポールは いくつの かぼちゃを そだてたでしょう。
ほかにも いろいろな ものが かくれていますよ。 見つけられますか。 ■



ひゃくまんにん

百万人のひとり!

軽やかに、元気よく ♩ = 96-104

詞：ジャン・ピンボロー
曲：マイケル・F・ムーディー

mf

1. ひゃく まんにんの と
もしんせつしよ

もーだちが せかいじゅうにいて がんばってる ひゃ
うーじきに おこないでしんこ うしめします ひゃ

ゆっくり *もとの速さで*

くまんのひとり とくべつな ひゃ くまんのひとり つよくなろう! しゅ
くまんのひとり とくべつな ひゃ くまんのひとり つよくなろう! しゅ

1.

のひかりうけて *(手拍子)* かみさまの のぞむひとになりたい 2. いつ
のひかりうけて かみさまの の

2.

ぞむひとに なるために ころをつく します

ゆっくり *rit.*

©2010 by Jan Pinborough and Michael F. Moody. All rights reserved.
教会あるいは家庭における一時的また非営利的目的の使用に限り、
この表示を含めて複製することを許可する。



大管長会第一顧問
ヘンリー・B・
アイリング管長

安全への道

与えられた警告が

主からのものかどうかを知る一つの方法は、証人、それも権威ある証人の律法にかなっているかどうか考えることです。

わたしたちを安全に導こうとする救い主の願いには終わりがありません。また、わたしたちに安全な道を示してくださるその方法には一貫性があります。救い主は複数の手段を用いて、進んで受け入れようとする人々にその道が分かるようにくださっているのです。そして、その手段にいつも含まれるのが、神の預言者の口を通してメッセージを送ってくださることです。これは、民が神の預言者を頂くにふさわしいときにはいつも行われてきました。権能を受けた僕たちは例外なく、民に警告を与え、安全への道を示す責任を与えられています。

ミズーリ州北部で緊張が高まった1838年秋、預言者ジョセフ・スミスは全ての聖徒たちに安全のためファーウェストに集合するように呼びかけました。当時聖徒たちの多くは、それぞれ別個に点在する農場や定住地に、ばらばらに住んでいたのです。ジョセフは特に、「ハウズミル」と呼ばれた定住地の創設者であるジェーコブ・ハウに勧告を与えました。当時の記録にはこうあります。「ジョセフ兄弟は製粉所の所有者であるハウを通じてそこに住む兄弟たちに、そこを



去ってファーウェストに移るように伝えようとしたが、ハウはそれを伝えなかった。」(フィロ・ディブル, “Early Scenes in Church History,” *Four Faith Promoting Classics* [1968年], 90で引用) 後に預言者ジョセフはこう記録しています。「今日に至るまで、神は勧告に従う人々を救う知恵をわたしに授けてこられた。わたしの勧告に従っていたら、誰一人命を落とす者はいなかったであろう。」(*History of the Church*, 第5巻, 137) その後でジョセフは、人々が彼の勧告を受け入れ、それに従っていたら、ハウズミルで罪なき者の命が奪われることはなかったとの悲しい真実を記しています。

わたしたちの時代においても、罪や悲しみから逃れる道を教える警告の声が発せられています。そうした警告の声聞き分ける一つの方法は、警告

は繰り返し述べられるというのを理解することです。例えば総大会において、わたしたちの預言者が前任の預言者の言葉を引用して第2の、時には第3の証人となるのを一度ならず耳にしたことと思います。……使徒パウロはこう書いています。「すべての事がらは、ふたりか三人の証人の証言によって確定する。」(2コリント13:1) 与えられた警告が主からのものかどうかを知る一つの方法は、証人、それも権威ある証人の律法にかなっているかどうか考えることです。預言者の言葉が、あることを繰り返し述べていると思われるとき、その事実はわたしたちの心に深く刻まれるとともに、そのような祝福された時代に生を受けていることへの感謝の気持ちが胸に満ちるのです。……

天の御父はわたしたちを愛しておられます。御父は独り子を救い主として遣わしてくださいました。御父はわたしたちがこの世で重大な危機に直面することを御存じでした。その最たるものは、狡猾な悪魔からの誘惑です。救い主がわたしたちに神権の鍵を授けてくださったのはそのためです。聞く耳を持つ者、従う信仰を持つ者が安全な場所に行けるようにしてくださいました。■

「助言の中に安全を見いだす」『聖徒の道』1997年7月号, 28-31 参照

洞 察



わたしたちはどれくらい頻繁に優しい言葉で語り合っているでしょうか。

「幾つかのことについて自問することで、自分を評価できます。……」1. 二人きりのとき、あるいは子供たちの前で、伴侶を褒めたのは、いつが最後だろうか。2. 伴侶に感謝し、愛を示し、彼または彼女のために信仰をもって熱心に祈ったのは、いつが最後だろうか。3. 相手を傷つける言葉を口にする前に自分を止めたのは、いつが最後だろうか。4. 『あなたがこうしていれば』とか『あなたがこうしなければ』と付け加えずに謝罪し、謙遜な心で赦しを求めたのは、いつが最後だろうか。5. 単に『正しい』ことを求めず、幸福であることを選んだのは、いつが最後だろうか。」

今月号のその他の記事

ヤングアダルト

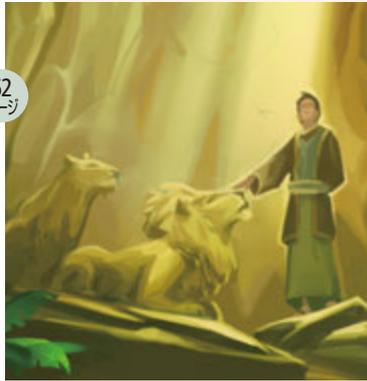
誠意をもって生きる

あなたの決断の「なぜ」を理解することは、あなたが正しいことを正しい目的で行うのを助けてくれるでしょう。目的意識を持って生活しましょう！



青少年

62
ページ



聖文の中の 驚くべき青少年たち

聖文の中の青少年たちが直面しなければならなかった戦いは、皆さんの直面している戦いとは違うものだったかもしれませんが、彼らの勇気、信仰、従順の模範に従うことはできます。

子ども

助けを見いだす

テートはテレビで見たものが頭からはなれなかったので、どうすればいいか知るために、天のお父様にいのりました。

